

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2004年3月4日 (04.03.2004)

PCT

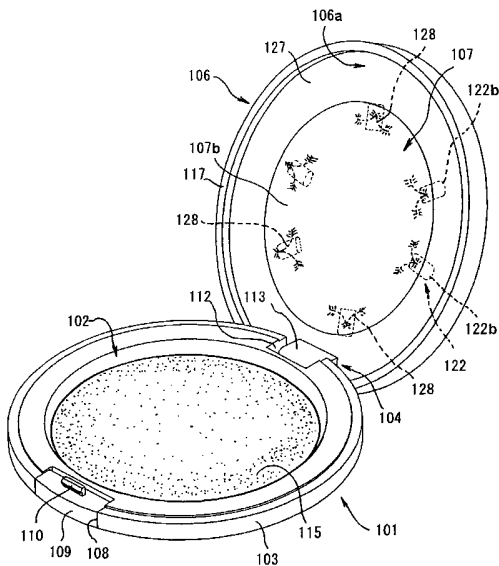
(10) 国際公開番号
WO 2004/017789 A1

- | | | | |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|---|
| (51) 国際特許分類: | A45D 33/32 | (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): | 吉田工業株式会社 (YOSHIDA INDUSTRY CO., LTD.) [JP/JP]; 〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目29番10号 Tokyo (JP). |
| (21) 国際出願番号: | PCT/JP2003/009680 | (72) 発明者; および | |
| (22) 国際出願日: | 2003年7月30日 (30.07.2003) | (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): | 禿下 貴之 (TOKUSHITA, Takayuki) [JP/JP]; 〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内 Tokyo (JP). 柳沢 夏生 (YANAGISAWA, Natsumi) [JP/JP]; 〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内 Tokyo (JP). 袖原 幸知 (YUHARA, Yukitomo) [JP/JP]; 〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内 Tokyo (JP). |
| (25) 国際出願の言語: | 日本語 | | |
| (26) 国際公開の言語: | 日本語 | | |
| (30) 優先権データ: | | | |
| 特願2002-221189 | 2002年7月30日 (30.07.2002) | JP | |
| 特願2003-116289 | 2003年4月21日 (21.04.2003) | JP | |
| 特願2003-136605 | 2003年5月14日 (14.05.2003) | JP | |
| 特願2003-136606 | 2003年5月14日 (14.05.2003) | JP | |
| 特願2003-136607 | 2003年5月14日 (14.05.2003) | JP | |
| 特願2003-136608 | 2003年5月14日 (14.05.2003) | JP | |
| 特願2003-136609 | 2003年5月14日 (14.05.2003) | JP | |

/ 続葉有 /

(54) Title: STORAGE CASE

(54) 発明の名称: 収納ケース



(57) Abstract: A storage case, wherein light source devices are installed on the inside of an external member forming the contour of the storage case and a light transmission part allowing the transmission of light from the light source devices is formed in the external member, whereby a variety of decorations utilizing the light can be provided so that aesthetic or novel and original decorative effects capable of bringing about characteristic and specific atmosphere can be produced on the storage case.

(57) 要約:

収納ケースの外殻をなす外装部材の内側に光源装置を設けるとともに、前記外装部材に前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成することにより、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、収納ケースに特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることを可能となす。

WO 2004/017789 A1



(74) 代理人: 一色国際特許業務法人 (ISSHIKI & CO.); 〒
105-0004 東京都 港区 新橋 2丁目 1 2 番 7号 労金新
橋ビル Tokyo (JP).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

(81) 指定国 (国内): US.

2文字コード及び他の略語については、定期発行される
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (FR, IT).

明 細 書

収納ケース

5

関連出願の相互参照

本出願は、2002年7月30日に出願された日本特許出願2002-221189号、2003年4月21日に出願された日本特許出願2003-116289号、2003年5月14日に出願された特願2003-136605号、特願2003-136606号、特願2003-136607号、特願2003-136608号、特願2003-136609号に基づく優先権を主張し、その内容を本明細書中に援用する。

技術分野

15 本発明は、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる収納ケースに関する。

背景技術

20

一般に、各種の容器では、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、塗装などにより着色したり、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、プレート材や転写シートを用いて平面的あるいは立体的に文字や模様などを施したり、模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたり、写真などのシート材を挿入する部分を備えるなどして、容器の表面に装飾を施すようにしていた（例えば、特開昭54-83961号公報、実開昭58-179012号公報、実開昭58-179013号公報、実開昭58-179014号公報、実開昭59-1310号公報、実開昭59-45017号公報、特公平1-37248号公報、特開平7-8

8890号公報等を参照)。

他方、光源を備えた容器として、特開平11-102601号公報に開示されたものが知られている。この従来の容器は、照度の低い所、例えば、夜の屋外、OHPを用いた会議の席や夜間の車の中でも、カバンの内部、メモ帳に筆記する手元、また鏡に写る化粧時の顔を見ることができる光源を有する携帯用容器を提供することを目的とし、容器本体とこの容器本体に蝶番を介して開閉自在に取り付けられた上蓋部とからなる容器の上蓋部の内面に、アクリル製乳白色の拡散パネルと、この拡散パネルの後方に設けられた冷陰極蛍光灯からなる光源と、この光源の後方に設けられたアルミニウム薄板からなる反射シートを貼付した反射鏡と、光源を点灯させるための回路基板と、電源と、スイッチ手段とからなる光源ユニットを組み込み、光源を点灯させることにより、容器本体の内部を照明したり、容器本体を持つ者の顔を照射して暗い場所でも鏡を用いることができるようにして、照度の低い所でも、対象物を照らしたり、鏡に写る化粧時の顔を見ることができるようにしている。また、光源は一定の明るさで点灯させたり、手動で調光させる調光手段を設けるようにしていた。

しかしながら、この「光源を有する携帯用容器」は、照明という観点のみに着目したものであって、光源によって容器にもたらすことが可能な多様な演出効果を有効かつ十分に利用することができていない。詳細には、光源と鏡との関係において、光源は鏡とは別の位置に設けられ、光源は顔などを照らし出すだけであり、また鏡は照らし出された顔を映し出すだけであって、それらの機能を個々に利用しているにすぎなかった。

また従来、棒状物を収納する収納ケースとしては、例えば、特開平9-182621号公報に開示されているように、使用するときには棒状物である口紅を収納ケースから繰り上げ、収納するときには、収納ケース内に繰り下げるようにした繰り上げ式の棒状物収納ケースが知られている。そしてこのような棒状物収納ケースにあっては一般に、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、塗装などにより着色したり、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、プレート材や転写シートを用いて平面的あるいは立体的に文字や模様などを施したり、模様などを

付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、収納ケースの表面に装飾を施すようにしていた。

更に従来にあっては、例えば、特開 2002-2742 号公報、実開平 1-130957 号公報、実開昭 48-26149 号公報に示されているように、
5 内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体に、ネジや径嵌合によって分離可能に着脱されて当該ケース本体を開閉する蓋体を備えた収納ケースが知られている。そして、ケース本体には、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、ケース本体の素材として、色つきのガラス瓶を用いたり、模様などを印刷した
10 ラミネートチューブを用いたり、またその表面処理のために、塗装をしたり、スパッタリングなどの方法を適用したり、あるいはプレート材や転写シートを用いて平面的あるいは立体的に文字や模様などを施したり、さらには別途作成した外装体を被せるなどして、ケース本体の表面に各種の装飾を施すようにしていた。

15 また、蓋体に関しても、そのデザイン性を高めるために、同様に、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、塗装などにより着色したり、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、プレート材や転写シートを用いて平面的あるいは立体的に文字や模様などを施したり、模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、蓋体の表面に装飾を施
20 すようにしていた（例えば、特開平 7-88890 号公報参照）。

しかしながら、例えば特開平 7-88890 号公報に示される従来の技術で得られる加飾はいずれも、既にありきたりなものであり、装飾を施すという技術面から見ると、限界があった。

また、特開平 11-102601 号公報に示される従来の容器は、光源を備
25 えながらも照明という観点のみに着目したものであって、光源を一定の明るさで点灯させたり、手動で調光手段を操作して調光する程度のものであり、光源によって容器にもたらしることが可能な多様な美的演出効果を有効かつ十分に利用することに着目したものではなかった。すなわち、明るさを確保するためにのみ光源が必要であるとの考えの下に構成されたものであると考えられる。

しかしながら、光源を用いれば、多種多様な視覚的効果が得られ、同じ製品であっても光の作用によって醸し出される表情はさまざまに変わるものであって、本願発明者は光源からの光を利用することに着目し、光によって加飾を行うことによって、収納ケースに、今まで見たことのない美的装飾効果を与え得るとの知見を得て、本発明を完成するに至ったものである。

発明の開示

本発明は以上の問題点を考慮してなされたものであり、その目的の1つは、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気

10 醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる収納ケースを提供することである。

前記の目的及び他の目的を達成するために、この発明の1つの実施形態に係わる収納ケースは、収納ケースの外郭をなす外装部材の内側に光源装置を設けるとともに、上記外装部材に上記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする。

15

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

また、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体の裏面に鏡板を取り付けた収納ケースにおいて、上記鏡板の裏面に、上記蓋体の裏面との間に位置させて設けられ、発光されて該蓋体の裏面から該鏡板の周縁にわたって光を照射するLED群と、上記鏡板の周縁にこれを取り囲んで設けられ、光を透過させる環状カバーと、上記LED群を発光させる電源と、上記LED群の発光をコントロールするコントローラとを備えたことを特徴とする。

20

25

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体の裏面に鏡板を取り付けた収納ケースにおいて、LED群と鏡板の組み合わせの相乗効果によつ

て光による多種多様な演出効果を得ることができ、LED群を備えた収納ケースに、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体に光源装置を設けた収納ケースにおいて、上記光源装置が、RGB光源と該RGB光源の各色の発光量をコントロールするコントローラとを備えることを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体に光源装置を設けた収納ケースにおいて、光源からの光による多種多様な演出効果が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体の裏面に光源装置を設けた収納ケースにおいて、上記蓋体に部分的に、上記光源装置の光を該蓋体の裏面から表面へ向かって透過させる光透過部が形成されていることを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体の裏面に光源装置を設けた収納ケースにおいて、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、上記外装部材としてのケース本体内に収納物を収納する中皿が装着された収納ケースにおいて、上記ケース本体と上記中皿との間に光源装置を設けるとともに、上記ケース本体に、上記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、上記外装部材としてのケース本体内に収納物を収納する中皿が装着された収納ケースにおいて、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気醸し出さ

せる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体に光源装置を設けた収納ケースにおいて、上記光源装置が、光源と光源の発光をコントロールするコントローラとを備えるとともに、上記ケース本体および上記蓋体の少なくともいずれか一方に、上記コントローラを制御する制御操作部を設けたことを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、上記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、上記蓋体に光源装置を設けた収納ケースにおいて、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、収納ケースの外郭をなす外装部材であつて内周に螺旋溝が形成された中空筒体状のケース本体と、該ケース本体内に設けられた光源装置と、上記収納ケースの外郭をなす外装部材であつて上端部が上記ケース本体の上端部から突出されて当該ケース本体内に相対回転可能に設けられ、上記螺旋溝の形成部分に縦スリットが形成されるとともに、上記光源装置の光を透過させる光透過部が形成された中空筒体状のカバーと、該カバー内に上下方向へ相対移動自在に設けられ、上記縦スリットを貫通して上記螺旋溝に係合する突起が形成されるとともに、上記光源装置の光を透過させる光透過部が形成され、棒状物を保持する保持体と、上記カバーを覆って上記ケース本体の上端部に着脱可能に装着されるキャップとを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、内周に螺旋溝が形成された中空筒体状のケース本体と、上端部が上記ケース本体の上端部から突出されて当該ケース本体内に相対回転可能に設けられた中空筒体状のカバーと、該カバー内に上下方向へ相対移動自在に設けられ上記螺旋溝に係合する突起が形成され、棒状物を保持する保持体と、上記カバーを覆って上記ケース本体の上端部に着脱可能に装着されるキャップとを備えた収納ケースにおいて、光を利用し

た多種多様な加飾を得ることができ、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体と、このケース本体より分離可能に着脱されて当該ケース本体を開閉し、収納ケースの外郭をなす外装部材としての蓋体とを備えた収納ケースにおいて、上記蓋体に光源装置を設けるとともに、上記蓋体に、上記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体と、このケース本体より分離可能に着脱されて当該ケース本体を開閉し、収納ケースの外郭をなす外装部材としての蓋体とを備えた収納ケースにおいて、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる収納ケースは、内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体を備えた収納ケースにおいて、上記ケース本体に収納ケースの外郭をなす外装部材としての外装体を設け、該外装体に光源装置を設けるとともに、上記外装体に、上記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする。

そして、この実施形態の収納ケースにあつては、内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体を備えた収納ケースにおいて、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

その他、本願が開示する課題、及びその解決方法は、発明の実施の形態の欄、及び図面により明らかにされる。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明にかかる収納ケースの好適な一実施形態を示す斜視図、

第 2 図は、図 1 の収納ケースの側断面図、

第 3 図は、図 1 の収納ケースに備えられる取り付け用基板の平面図、

第 4 図は、本発明にかかる収納ケースの第 2 実施形態を示す斜視図、

第 5 図は、図 4 の収納ケースの側断面図、

5 第 6 図は、図 4 の収納ケースを開いて中皿を取り去った状態を示す概略平面図、

第 7 図は、図 4 の収納ケースの蓋体を回動させて接点を接触させた状態を示す要部拡大側断面図、

10 第 8 図は、本発明にかかる収納ケースの第 3 実施形態を示す、蓋体を閉じた状態の斜視図、

第 9 図は、図 8 の収納ケースの側断面図、

第 10 図は、図 8 の収納ケースの蓋体を開いた状態の斜視図、

第 11 図は、本発明にかかる第 3 実施形態の収納ケースの変形例を示す側断面図、

15 第 12 図は、本発明にかかる第 3 実施形態の収納ケースの他の変形例を示す側断面図、

第 13 図は、本発明にかかる収納ケースの第 4 実施形態を示す斜視図、

第 14 図は、図 13 に示した収納ケースの側断面図、

第 15 図は、本発明にかかる収納ケースの第 5 実施形態を示す斜視図、

20 第 16 図は、図 15 に示した収納ケースの側断面図、

第 17 図は、本発明にかかる収納ケースの第 6 実施形態を示す斜視図、

第 18 図は、図 17 に示した収納ケースの側断面図、

第 19 図は、本発明にかかる収納ケースの第 7 実施形態を示す、蓋体を開いた状態の斜視図、

25 第 20 図は、図 19 の収納ケースの側断面図、

第 21 図は、図 19 の収納ケースの蓋体を開いたときの、ヒンジ部分の拡大側断面図、

第 22 図は、本発明にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケースの好適な一実施形態を示す斜視図、

第 23 図は、図 22 の繰り上げ式の棒状物収納ケースの側断面図、

第 24 図は、図 22 の繰り上げ式の棒状物収納ケースで、棒状物を繰り上げた状態を示す一部破断側面図、

5 第 25 図は、本発明にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケースの変形例を示す側断面図、

第 26 図は、本発明にかかる収納ケースの第 9 の実施形態を示す斜視図、

第 27 図は、図 26 に示した収納ケースの側断面図、

第 28 図は、本発明にかかる収納ケースの第 10 実施形態を示す斜視図、

第 29 図は、図 28 に示した収納ケースの側断面図、

10 第 30 図は、本発明にかかる収納ケースの第 11 実施形態を示す斜視図、

第 31 図は、図 30 に示した収納ケースの側断面図、

第 32 図は、本発明にかかる収納ケースの第 12 実施形態を示す斜視図、

第 33 図は、図 32 に示した収納ケースの側断面図、

第 34 図は、本発明にかかる収納ケースの第 13 の実施形態を示す斜視図、

15 第 35 図は、図 34 に示した収納ケースの側断面図である。

発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明にかかる収納ケースに関し、幾つかの最良な実施の形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。

《第 1 実施形態》

本実施形態にかかる収納ケース 101 は図 1～図 3 に示すように、各種の収納物を収納する収納空間 102 が形成されたケース本体 103 と、ケース本体 103 の一端にヒンジ 104 を介して回動自在に連結されてケース本体 103 を開閉するとともに、ケース本体 103 の他端にフック手段 105 を介して係脱自在に係合されて当該ケース本体 103 を閉止状態に維持する蓋体 106 と、蓋体 106 の外形寸法よりも小さな外形寸法で形成され、当該蓋体 106 の裏面 106a に取り付けられる鏡板 107 とから主に構成される。

フック手段 105 は、ケース本体 103 に形成された凹所 108 内にスライ

ド自在に設けられたプッシュピース109と、プッシュピース109に形成されたフック用突起110と、蓋体106に形成されてフック用突起110に係脱自在に係合されるフック部111とから構成され、プッシュピース109がケース本体103内方へ押し込まれることにより、フック用突起110がフック部111から離脱されて、蓋体106を開くことができるようになっている。
5 またヒンジ104は、フック手段105とは反対側においてケース本体103に形成されたヒンジ凹所112に、蓋体106から垂下させたヒンジブロック113が挿入され、ケース本体103からヒンジブロック113にわたってヒンジピン114が挿入されることで構成される。

10 図示例にあっては、収納ケース101として、収納空間102に、化粧品115およびその上に重ねて置かれるパフ116が収納される携帯用の化粧品容器が例示されている。しかしながら、収納ケース101としては、このような化粧品容器に限らず、宝石や装身具など、いかなる収納物を収納するものであっても良いことはもちろんである。

15 蓋体106について説明すると、蓋体106の周縁部には、ケース本体103側へ向かって垂下させて外周壁117が形成され、これにより蓋体106の裏面106aには、外周壁117で取り囲んで組み付け用の凹部118が区画形成される。この組み付け用凹部118には、鏡板107の外形寸法よりも小さな外形寸法で形成され、かつその周縁に蓋体106の裏面106aと接合される環状突起119が形成された取り付け用基板120と、この取り付け用基板120に重ね合わせて接着される透明な板材121とが設けられ、鏡板107はその裏面107aが透明な板材121に接着される。そして、取り付け用基板120は環状突起119により、蓋体106の裏面106aとの間に隙間を隔てた状態で蓋体106に取り付け支持されるとともに、鏡板107は透明な板材121を介して、取り付け用基板120に支持される。
25

鏡板107の裏面107aとなる取り付け用基板120上には、蓋体106の裏面106aとの間の隙間に位置させて、発光されることにより蓋体106の裏面106aから鏡板107の周縁にわたって光を照射するLED群122が設けられる。図示例にあってはLED群122は、鏡板107の周方向に沿

って配列された6個のLEDから構成されている。LED群122は、それらの接続端子122aが環状突起119に適宜間隔を隔てて形成された貫通孔123に挿通されて支持されるとともに、それらの発光部122bは鏡板107の周縁や蓋体裏面106aの周縁に面するように、取り付け用基板120よりも外方に突出される。取り付け基板120上には、LED群122を発光させる電源として、ボタン型電池124が搭載されるとともに、LED群122の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子125が搭載され、ケース本体103もしくは蓋体106に組み込んだ図示しないスイッチとこれらとの間で回路配線126を施すことによって、LED群122をプログラミングに従って発光させるようになっている。

さらに、鏡板107の周縁にはこれを取り囲んで、蓋体106の外周壁117との間に、光を透過させる透明もしくは半透明の環状カバープレート127が設けられる。また蓋体106も、少なくとも取り付け用基板120よりも外側の部分が透明もしくは半透明に形成され、当該蓋体106を透過するLED群122の照射光によって、その表面106bが照らし出されるようになっている。また、鏡板107の裏面107aには、LED群122からの光が鏡板107を透過して鏡面107bから照射されるように、銀メッキが部分的に除去された透過部128が形成される。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース101の作用について説明すると、蓋体106を回動させてケース本体103を開き、スイッチを入れると、LED群122の各LEDはそれぞれ、制御素子125に書き込まれたプログラミングに従って点滅されたりその照度が増減変更されるなど多様に点灯され、このようなLED群122の発光によって蓋体106の裏面106aから鏡板107の周縁にわたる部分が様々に照らし出される。そしてこれら蓋体106の裏面106aや鏡板107の周縁を照らし出す光は、直接光もしくは反射光として、環状カバープレート127を透過して鏡板107周りを多種多様な態様で照らし出す。また、LED群122からの照射光は、蓋体106の透明もしくは半透明の部分を透過してその表面106bを照らし出す。さらに、LED群122からの光は銀メッキを除去した透過部128から鏡板107を

透過し、鏡面107bから外方へ照射されるようになっている。スイッチは収納ケース101を閉じた状態で入れるようにしてもよく、この場合には、蓋体106の透明もしくは半透明の部分を透過するLED群122からの照射光によって蓋体106の表面106bが照らし出されることになる。

5 このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース101にあつては、鏡板107の裏面107aに、蓋体106の裏面106aとの間に位置させて設けられ、発光されて蓋体106の裏面106aから鏡板107の周縁にわたって光を照射するLED群122と、鏡板107の周縁にこれを取り囲んで設けられ、光を透過させる環状カバープレート127と、LED群122を発光
10 させるボタン型電池124と、LED群122の発光をコントロールする制御素子125とを備えたので、LED群122と鏡板107の組み合わせの相乗効果によって、光による多種多様な演出効果を得ることができ、LED群122を備えた収納ケース101に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

15 また、蓋体106を、光を透過させる透明もしくは半透明に形成したので、蓋体106の外観にも、光による演出効果を利用した特徴的な雰囲気の装飾を施すことができる。また、鏡板裏面107aの銀メッキを部分的に除去して、鏡面107bから光を照射させるようにしたので、鏡板107自体にも、光による演出効果を利用した特徴的な雰囲気の装飾を施すことができる。上記実施
20 形態にあつては、蓋体106に透明もしくは半透明な部分を形成したが、全体を不透明に形成しても良いことはもちろんである。また、鏡板裏面107aの銀メッキを部分的に除去する場合について説明したが、必ずしも銀メッキを除去する必要はない。

《第2実施形態》

25 本実施形態にかかる収納ケース201は図4～図7に示すように、各種の収納物を収納する収納空間202が形成されたケース本体203と、ケース本体203の一端にヒンジ204を介して回動自在に連結されて、ケース本体203を開閉するとともに、ケース本体203の他端にフック手段205を介して係脱自在に係合されて、当該ケース本体203を閉止状態に維持する蓋体20

6 とから主に構成される。

フック手段 205 は、ケース本体 203 に形成された凹所 207 内にスライド自在に設けられたプッシュピース 208 と、プッシュピース 208 に形成されたフック用突起 209 と、蓋体 206 に形成されてフック用突起 209 に係脱自在に係合されるフック部 210 とから構成され、プッシュピース 208 がケース本体 203 内方へ押し込まれることにより、フック用突起 209 がフック部 210 から離脱されて、蓋体 206 を開くことができるようになっている。またヒンジ 204 は、フック手段 205 とは反対側においてケース本体 203 に形成されたヒンジ凹所 211 に、蓋体 206 から垂下させたヒンジブロック 212 が挿入され、ケース本体 203 からヒンジブロック 212 にわたってヒンジピン 213 が挿入されることで構成される。

図示例にあっては、収納ケース 201 として、収納空間 202 に、化粧品 214 が充填された中皿 215 が収納される携帯用の化粧品容器が例示されている。しかしながら、収納ケース 201 としては、このような化粧品容器に限らず、宝石や装身具など、いかなる収納物を収納するものであっても良いことはもちろんである。

蓋体 206 について説明すると、蓋体 206 の周縁部には、ケース本体 203 側へ向かって垂下させて外周壁 206a が形成され、これにより蓋体 206 の外観を呈する表面 206b とは反対側の裏面 206c に、外周壁 206a で取り囲んで凹部 216 が区画形成される。この凹部 216 には、中央部に開口部 217a が形成されて、その開口部 217a 周縁が蓋体 206 の裏面 206c に固定され、またその外周縁が外周壁 206a 内面に固定される反射部材としての反射板 217 と、反射板 217 の開口部 217a に挿入されて蓋体 206 の裏面 206c に固定され、発光する光源装置 218 と、外周壁 206a 内面に外周縁が固定され、光源装置 218 および反射板 217 をそれらとの間に間隔を隔てて覆いつつ、凹部 216 を封鎖する板状のカバー 219 とが設けられる。

反射板 217 は側断面が開口部 217a から外周縁に向かってカバー 219 側に向かって凹のパラボラ状に湾曲されて形成され、これにより光源装置 21

8からの照射光を、カバー219へ向かって反射させる。カバー219は、光を透過させる透明もしくは半透明に形成される。カバー219としては、光を拡散させるものが好ましい。またカバー219には、光源装置218と対応する位置に窪み部219aが形成され、この窪み部219aには、カバー219を透かして光源装置218が見えないように隠蔽する覆い部材としての鏡板220が設けられる。

光源装置218は、RGB光源221と、このRGB光源221の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板222とから構成され、RGB光源221は電子基板222上に直接実装されている。RGB光源221としては、LEDやエレクトロルミネセンス（EL）素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、RGB光源221の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子が含まれ、プログラミングに従ってRGB光源221を発光させる。

RGB光源221の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発色させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。

次に、ケース本体203について説明すると、ケース本体203は、底部203aとこの底部203a外周縁から蓋体206側へ向かって立ち上げて形成された周側壁203bとから構成され、これにより中皿215を収納する収納空間202がケース本体203内部に区画形成される。この収納空間202には、中皿215の他に、光源装置218に電力を供給するバッテリーとしてのボタン型電池223を交換可能に収納するバッテリーケース224が設けられる。中皿215は、収納空間202の深さよりも浅く形成されるとともに、その外周縁の環状フランジ部15aが周側壁203bの上端に係止されてケース本体203に固定され、これにより中皿215とケース本体203の底部203aとの間に、バッテリーケース224を格納するための隙間が形成される。

バッテリーケース 224 は、2つのボタン型電池 223 を、それら表裏のプラス・マイナスの電極を逆向きで、露出状態で保持する枠体状に形成される。そしてこのバッテリーケース 224 は、ケース本体 203 にその周側壁 203b から底部 203a にわたって形成した切り欠き部 226 と、中皿 215 から垂下
5 させて、切り欠き部 226 から収納空間 202 の奥に向かって形成した一对の
スライドレール 227 とによって、隙間内へスライド自在に挿入される。

またバッテリーケース 224 には、これを収納空間 202 内に安定的に保持するため、挿入方向前方へ突設した一对の可撓性弾性片 28 の各先端に、一对
10 のスライドレール 227 の端部に形成した各係止凸部 229 と係脱自在に係止
される係止突起 230 が形成される。また、ケース本体 203 の底部 203a
には、バッテリーケース 224 をケース本体 203 内に装着した際に、2つの電池 223 の一方の電極同士を導通させる導体 225 が設けられる。そしてこの
バッテリーケース 224 は、切り欠き部 226 からスライドレール 227 を介して隙間へ挿抜することでケース本体 203 に対し脱着され、これにより電池 2
15 23 を交換できるようになっている。

さらに、ケース本体 203 内の電池 223 から、蓋体 206 内の光源装置 218 に電力を供給するために、これらケース本体 203 と蓋体 206 とを連結
するヒンジ 204 に接点 230 が設けられる。接点 230 は、2つの電池 223 の他方の電極それぞれと基端部 231a が導通されるプラス・マイナスイ対
20 のバッテリー側リード線 231 の先端部 231b と、光源装置 218 の電子基板 222 に基端部 232a が接続されるプラス・マイナスイ対の光源側リード線 232 の先端部 232b とで構成される。光源側リード線 232 は帯板状で、
蓋体 206 の凹部 216 からヒンジ片 212 にわたって一連に貼り付けて設けられ、その先端部 232b によってヒンジ片 212 表面が部分的に覆われる。

25 バッテリー側リード線 231 も帯板状に形成され、その基端部 231a および先端部 231b を除いて、中皿 215 に収納空間 202 からヒンジ凹部 211 にわたって一連に貼り付けて設けられる。バッテリー側リード線 231 の基端部 231a は、交換される電池 223 に接離可能に弾接されるべく、弾性変形可能に中皿 215 から浮かせて形成される。またバッテリー側リード線 231 の先

端部 231b は、中皿 215 の環状フランジ部 15a とケース本体 203 の周側壁 203b 上端との間からヒンジ凹部 211 内に突出され、かつ弾性変形可能に当該環状フランジ部 15a および周側壁 203b から浮かせて形成される。

そして、表面に光源側リード線 232 が配設され、蓋体 206 の回転に従ってヒンジ凹部 211 内で回転されるヒンジ片 212 は、蓋体 206 がケース本体 203 を閉じているときには、ヒンジ凹部 211 内に浅く位置してバッテリー側リード線 231 の先端部 231b との間に相当の間隙を隔てるとともに、ケース本体 203 を開いていく蓋体 206 の回転過程で、バッテリー側リード線 231 の先端部 231b にこれを弾性変形させつつ当接するように、ヒンジ凹部 211 内に深く進入していく外形輪郭で形成され、このヒンジ片 212 の回転によってバッテリー側リード線 231 と光源側リード線 232 の先端部 231b, 32b 同士が接離自在に接触され、これにより、電池 223 と光源装置 218 とを蓋体 206 の回転量に応じて導通させる接離可能な接点 230 が構成される。

さらに必要に応じて、蓋体 206 も、光を透過させる透明もしくは半透明に形成されるとともに、この蓋体 206 に光を透過させるために反射板 217 の一部が適宜に切除される。そして蓋体 206 は、これを透過する RGB 光源 221 からの照射光によって、その表面 206b が照らし出されるようになっている。また、鏡板 220 の裏面にも必要に応じて、RGB 光源 221 からの光がカバー 219 を介し鏡板 220 の鏡面から照射されるように、銀メッキを部分的に除去した透過部を形成するようにしても良い。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース 201 の作用について説明すると、フック手段 205 を外し蓋体 206 を回転させてケース本体 203 を開いていくと、接点 230 が当接されてボタン型電池 223 から光源装置 218 に電力が供給され、RGB 光源 221 は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。この RGB 光源 221 の光はカバー 219 を介して、直接光としてもしくは反射板 217 で反射されて反射光として、開かれた蓋体 206 の裏面 206c 側を様々な態様で照らし出す。

また、RGB光源221からの照射光は、透明もしくは半透明の蓋体206を透過してその表面206bを照らし出す。さらに、RGB光源221からの光は銀メッキを除去した鏡板220を透過して外方に照射される。他方、蓋体206でケース本体203を閉じると接点230が離れ、これによりRGB光源221は消灯される。

このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース201にあっては、蓋体206に設けられる光源装置218を、RGB光源221とRGB光源221の各色の発光量をコントロールするコントローラとを備えて構成したので、コントローラでRGB光源221の各色の発光量をコントロールして発色や明度などを制御し、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果を得ることができ、収納ケース201に、特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。すなわち、コントローラでコントロールされるRGB光源221の照射光によって多種多様な視覚的効果を得ることができ、同じ製品であってもこの光の作用によって醸し出される表情をさまざまに変えることができ、このRGB光源221によって収納ケース201に、今まで見たこともない美的装飾効果を与えることができる。

また、ケース本体203に、ヒンジ204を介して蓋体206を回動自在に連結する場合に、ケース本体203に、光源装置218に電力を供給する電池223を設けるとともに、ヒンジ204に、電池223と光源装置218とを蓋体206の回動量に応じて導通させる接離可能な接点230を設けるようにしたので、電池223の重さによって収納ケース201の重心を低くすることができ、その安定感を高めることができるとともに、蓋体206に電池223を設けると、蓋体206が重くなって閉じやすくなってしまいが、これも防止し得る。さらに、ケース本体203を開閉する蓋体206の回動操作によって、自動的に電池223から光源装置218への電力の供給・停止を切り換えることができ、合理的にRGB光源221の点灯・消灯を行わせることができるとともに、その操作性を向上できる。

また、蓋体206を、光を透過させる透明もしくは半透明に形成したので、蓋体206の外観にも、光による演出効果を利用した特徴的な雰囲気の出る装飾を

5 施すことができる。また、蓋体 206 に RGB 光源 221 の光を反射させる反射板 217 を設けたので、視覚的な装飾効果を発揮する光を、蓋体 206 から外方へ向かって効果的に照射することができる。さらに、蓋体 206 に光源装置 218 を覆って、光を透過させる透明もしくは半透明のカバー 219 を設けたので、光をカバー 219 を通して発散させて、光の拡散や乱反射など、さまざまな視覚的効果を付加することができる。

10 また、カバー 219 に、光源装置 218 を隠蔽して鏡板 220 を設けたので、光源装置 218 がカバー 219 を介して透けて見えることを防止して、美観を高めることができる。また、鏡板 220 の銀メッキを部分的に除去して、鏡面から光を照射させるようにしたので、鏡板 220 自体にも、光による演出効果を利用した特徴的な雰囲気装飾を施すことができる。上記実施形態にあっては、蓋体 206 に透明もしくは半透明な部分を形成したが、全体を不透明に形成しても良いことはもちろんである。また、鏡板 220 の銀メッキを部分的に除去する場合について説明したが、必ずしも銀メッキを除去する必要はない。

15 《第 3 実施形態》

本実施形態にかかる収納ケース 301 は図 8～図 10 に示すように、各種の収納物を収納する収納空間 302 が形成されたケース本体 303 と、ケース本体 303 の一端にヒンジ 304 を介して回動自在に連結されてケース本体 303 を開閉するとともに、ケース本体 303 の他端にフック手段 305 を介して係脱自在に係合されて当該ケース本体 303 を閉止状態に維持する蓋体 306 と、蓋体 306 の裏面に設けられた光源装置 307 とから主に構成される。

25 フック手段 305 は、ケース本体 303 に形成された凹所 308 内にスライド自在に設けられたプッシュピース 309 と、プッシュピース 309 に形成されたフック用突起 310 と、蓋体 306 に形成されてフック用突起 310 に係脱自在に係合されるフック部 311 とから構成され、プッシュピース 309 がケース本体 303 内方へ押し込まれることにより、フック用突起 310 がフック部 311 から離脱されて、蓋体 306 を開くことができるようになっている。またヒンジ 304 は、フック手段 305 とは反対側においてケース本体 303 に形成されたヒンジ凹所 312 に、蓋体 306 から垂下させたヒンジブロック

313が挿入され、ケース本体303からヒンジブロック313にわたってヒンジピン314が挿入されることで構成される。

図示例にあっては、収納ケース301として、収納空間302に、化粧品やパフが収納される携帯用の化粧品容器が例示されている。しかしながら、収納
5 ケース301としては、このような化粧品容器に限らず、宝石や装身具など、いかなる収納物を収納するものであっても良いことはもちろんである。

蓋体306について説明すると、蓋体306の周縁部には、ケース本体303側へ向かって垂下させて外周壁315が形成され、これにより蓋体306の裏面306aには、外周壁315で取り囲んで組み付け用の凹部316が区画
10 形成される。この組み付け用凹部316には、これを覆って封鎖するカバー317が図示しない係脱機構によって着脱自在に設けられる。そして、蓋体306の裏面306aと向かい合う当該カバー317の裏面317aに、光源装置307が取り付けられる。

カバー317は本実施形態にあっては、光源装置307からの光がこれを透過して外部に照射されるように、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材によって形成される。カバー317の素材はこの他、ガラスなどであってもよい。このカバー317の表面317bには、蓋体306の外周壁315の内周寸法よりも小さな外形寸法で凹所318が形成され、この凹所318には、外周壁315との間に隙間を隔てて鏡板319が取り付けられる。従
15 って、鏡板319の周囲は、組み付け用凹部316内に照射されてカバー317を透過する光源装置307からの光によって照らし出されるようになっている。

他方、カバー317の裏面317aには、鏡板319で隠蔽される位置に環状リブ320が形成され、光源装置307はこの環状リブ320で取り囲まれた窪み部321に配置される。光源装置307は、蓋体306の裏面306aに向けて配置されるRGB光源322と、このRGB光源322の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板323と、これら電子基板323およびこれを介してRGB光源322に電力を供給するボタン型電池などのバッテリー324とから構成される。RGB光源
25

3 2 2は電子基板3 2 3上に直接実装されている。

RGB光源3 2 2としては、LEDや有機エレクトロルミネセンス（EL）素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、RGB光源3 2 2の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子が含まれ、図示しないスイッチによってバッテリー3 2 4から電力が供給されることにより、プログラミングに従ってRGB光源3 2 2を発光させる。

RGB光源3 2 2の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発光させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源3 2 2に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

そして特に本実施形態にあつては、蓋体3 0 6は、そのおおよそ全体が遮光性の合成樹脂材で形成される一方で、部分的に蓋体3 0 6の裏面3 0 6 aから表面3 0 6 bに向かってRGB光源3 2 2の光を透過させる光透過部3 2 5が形成される。この光透過部は本実施形態にあつては、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性を示す透光部材3 2 6で形成される。

この透光部材3 2 6は例えば、合成樹脂製の蓋体3 0 6を射出成形する際に、あらかじめこれを成形型内に取り付けておき、射出される樹脂と一体化するインサート成形などの方法で蓋体3 0 6に設けられる。特にこの透光部材3 2 6は、文字やマークなどのほか、所望のデザインに従ってさまざまな形態で形成することが可能であり、これを射出成形などによって蓋体3 0 6に一体に取り付けることにより、蓋体3 0 6に任意形状の光透過部3 2 5が形成される。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース3 0 1の作用について説明する。図示しないスイッチを入れると、バッテリー3 2 4からRGB光源3 2 2や電子基板3 2 3に電力が供給され、RGB光源3 2 2は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさ

で発光する。このRGB光源322の光は、蓋体306の光透過部325を介して外部へ照射され、蓋体表面306bに光透過部325で表されている文字やマーク、模様などを様々な態様で照らし出す。また、蓋体306を開いている場合には、カバー317を透過するRGB光源322の光によって、鏡板319の周囲も様々な態様で照らし出される。スイッチを切ると、RGB光源322は消灯される。

このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース301にあっては、蓋体306に部分的に形成した光透過部325からRGB光源322の光を透過させて、蓋体306の裏面306aから表面306bへ照射するようにしたので、光透過部325によって蓋体306の表面306bに、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、収納ケース301に、特徴的で固有の雰囲気

10 を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

また、蓋体306の裏面306aに、鏡板319と、鏡板319の周囲にRGB光源322の光を透過させるカバー317とを設けたので、図10に示すようにケース本体303を開いて蓋体306の裏面306a側を露出させると、鏡板319の周囲は、カバー317を透過する光源装置307からの光によって照らし出され、これら光と鏡板319の組み合わせの相乗効果で、収納ケース301に光を利用した演出効果を得ることができる。

さらに、光源装置307を、RGB光源322と、RGB光源322の発光をコントロールするコントローラを搭載した電子基板323と、これら電子基板323およびRGB光源322に電力を供給するバッテリー324とから構成し、コントローラでRGB光源322の発光をコントロールするようにしたので、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果を得ることができ、収納ケース301に、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは

25 斬新で新奇な装飾を施すことができる。

図11および図12には、光透過部325が形成される蓋体306の変形例が示されている。図11および図12では、いずれにあってても、蓋体306は無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の透光性を有する合成樹脂材で形成される。そして図11にあっては、部分的に打ち抜き部327などが形成され

た不透明のシート材や樹脂成形部品などの遮光性マスク 328 を、蓋体 306 の表面 306b にインサート成形によって一体的に設け、当該遮光性マスク 328 の打ち抜き部 327 によって蓋体 306 に光透過部 325 を形成するようにしたものである。他方、図 12 にあつては、蓋体 306 の裏面 306a に、
5 不透明塗料を塗装することで遮光性マスク 328 を形成する一方で、一部塗装をしない部分 329 を設定し、この塗装をしない部分 329 を利用して蓋体 306 に光透過部 325 を形成するようにしたものである。

これら変形例にあつても、上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。特に、これら変形例にあつては、蓋体 306 に光透過部 325 を形成する際、蓋体 306 全体をそもそも透明などの透光性をもって形成するとともに、シート材などの遮光性マスク 328 を用意し、これを単に蓋体 306 に付着させるだけで光透過部 325 を形成することが可能で、光を利用した多種多様な加飾を簡単に施すことができ、特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を容易に生じさせることができる。
10

なお、蓋体 306 への遮光性マスク 328 の形成については、デザインに従って打ち抜いた金属板の装着や、スパッタリングなどの方法によってもよいことは

《第 4 実施形態》

第 4 の実施形態にかかる収納ケース 401 は図 13 および図 14 に示すように、底壁 402 およびこの底壁 402 の周縁部から上方へ立ち上げて形成された外周壁 403 によって内部に凹所 404 が区画形成される皿状のケース本体 405 と、このケース本体 405 に装着され、各種の収納物を収納する中皿 406 と、中皿 406 とケース本体 405 との間に設けられる光源装置 407 と、
20 ケース本体 405 の一端にヒンジ 408 を介して回動自在に連結されてケース本体 405 を開閉するとともに、ケース本体 405 の他端にフック手段 409 を介して係脱自在に係合されて当該ケース本体 405 を閉止状態に維持する蓋体 410 と、蓋体 410 の裏面に設けられる鏡板 411 とから主に構成される。

図示例にあつては、収納ケース 401 として、中皿 406 に、化粧品 P が収納された携帯用の化粧品容器が示されている。しかしながら、収納ケース 40

1 としては、このような化粧料容器に限らず、中皿 4 0 6 に宝石や装身具など、
いかなる収納物を収納するものであっても良いことはもちろんである。

中皿 4 0 6 について説明すると、この中皿 4 0 6 は、ケース本体 4 0 5 の凹
所 4 0 4 の平面内径寸法よりも小さな平面外形寸法で形成された底板部 4 1 2
5 と、この底板部 4 1 2 の周縁から上方へ向かって立ち上げて、凹所 4 0 4 の深
さよりも低い高さで形成され、底板部 4 1 2 上に化粧料 P の収納空間 4 1 3 を
区画形成する環状壁部 4 1 4 と、この環状壁部 4 1 4 の上端周縁から外方へ突
出させて形成され、ケース本体 4 0 5 の外周壁 4 0 3 上端に係脱自在に係止さ
れる環状フランジ部 4 1 5 とから構成され、これにより中皿 4 0 6 は、ケース
10 本体 4 0 5 の底壁 4 0 2 から浮かせて当該底壁 4 0 2 との間に上下方向の隙間
を隔てた状態で、ケース本体 4 0 5 の凹所 4 0 4 内に装着される。

そして本実施形態にあつては、この中皿 4 0 6 とケース本体 4 0 5 との間の
隙間に、中皿 4 0 6 の底板部 4 1 2 から下方へ向けて突出された環状リブ 4 1
6 によって取り囲まれる窪み部 4 1 7 に組み込んで、光源装置 4 0 7 が設けら
15 れる。光源装置 4 0 7 は、ケース本体 4 0 5 の底壁 4 0 2 に向けて配置される
RGB 光源 4 1 8 と、この RGB 光源 4 1 8 の各色の発光量をコントロールす
るコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板 4 1 9 と、これら電
子基板 4 1 9 およびこれを介して RGB 光源 4 1 8 に電力を供給するボタン型
電池などのバッテリー 4 2 0 とから構成される。RGB 光源 4 1 8 は電子基板 4
20 1 9 上に直接実装されている。

RGB 光源 4 1 8 としては、LED や有機エレクトロルミネセンス (EL)
素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントロー
ラを構成する電子部品には、RGB 光源 4 1 8 の発光をコントロールするプロ
グラミングが書き込まれた IC チップ等の制御素子が含まれ、図示しないスイ
25 ッチによってバッテリー 4 2 0 から電力が供給されることにより、プログラミン
グに従って RGB 光源 4 1 8 を発光させる。

RGB 光源 4 1 8 の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させ
てゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を
順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明

減させながらそのたびにさまざまな色に変えて発色させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源418に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

そして特に、ケース本体405には、RGB光源418の光を透過させる光透過部が形成される。本実施形態にあつては、ケース本体405全体が、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性の素材で形成されて、当該ケース本体405全体が光透過部として形成される。そしてケース本体405は、RGB光源418からの光を凹所404内から外方へと照射させて、その全体が当該光によって照らし出されるようになっている。また、本実施形態にあつては中皿406も、ケース本体405と同様に、その全体が透光性の素材で形成されて光透過部として形成され、RGB光源418の光が環状フランジ部415から外方へ照射されて、収納空間413の周囲が照らし出されるようになっている。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース401の作用について説明する。図示しないスイッチを入れると、バッテリー420からRGB光源418や電子基板419に電力が供給され、RGB光源418は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。このRGB光源418の光は、光透過部としてのケース本体405全体から外部へ向かって照射され、ケース本体405表面全体を様々な態様で照らし出す。また、蓋体410を開いている場合には、環状フランジ部415を透過するRGB光源418の光によって、中皿406の収納空間413周りも様々な態様で照らし出される。スイッチを切ると、RGB光源418は消灯される。

このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース401にあつては、ケース本体405と中皿406との間に設けた光源装置407からの光が、その全体を透光性素材で形成したケース本体405内方から外方へ透過されて、ケース本体405の表面全体が照らし出されるようになっている。これにより、ケース本体405の表面に、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、収納ケース401に、特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは斬新

で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

また、中皿406もその全体を透光性素材で形成して、これにより光透過部が形成されるようにして、光源装置407の光が中皿406の環状フランジ部415から外方へ透過されて、収納空間413の周辺が照らし出されるようになっている。これにより、ケース本体405のみならず中皿406にも、
5 光を利用した多種多様な加飾を施すことができ、収納ケース401に、光を利用した演出効果を得ることができる。

さらに、光源装置407を、RGB光源418と、RGB光源418の発光をコントロールするコントローラを搭載した電子基板419と、これら電子基板419およびRGB光源418に電力を供給するバッテリー420とから構成し、
10 コントローラでRGB光源418の発光をコントロールするようにしたので、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果を得ることができ、収納ケース401に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

15 上記実施形態にあつては、中皿406にも光透過部を形成するようにその全体を透光性素材で形成するようにしたが、これに代えてその全体を遮光性の素材で形成してもよいことはもちろんである。

《第5実施形態》

図15および図16には、第5実施形態が示されている。この実施形態にあつては主に、中皿406の収納空間413がRGB光源418からの光で照らし出されるようになつていて、宝石などを収納する収納ケース401に適用して好ましいものである。この実施形態では、ケース本体405が遮光性の素材で形成されるとともに、このケース本体405側にその底壁402で外部から
20 隠蔽して、光源装置407が設けられる。他方、中皿406全体は、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性素材で形成されて、当該中皿406全体が光透過部として形成される。

そして中皿406は、RGB光源418からの光を収納空間413やその周囲の環状フランジ部415へと透過させて、その全体が当該光によって照らし出されるようになっている。このような第2の実施形態にあつても、第1の実

施形態と同様な作用・効果を得ることができることはもちろんである。

《第6実施形態》

図17および図18には、第6の実施形態が示されている。この実施形態では、第2の実施形態の中皿406の形態が変更され、収納空間413内にこれを縦横に仕切る仕切り壁421が形成されている。この仕切り壁421は、一対の立て壁422同士の上端間を頂板423で連結するようにした中空構造として形成される。このような第3の実施形態であっても、上記実施形態と同様な作用・効果が得られることはもちろんであり、特に仕切り壁421もRGB光源418の光で照らし出されることとなって、さらに装飾効果を高めることが可能である。

上記いずれの実施形態にあっても、ケース本体405あるいは中皿406を、その全体を透光性素材で形成して、全体が照らし出されるようにした場合について説明したが、光透過部を、これらケース本体405等に部分的に形成するようにしてもよいことはもちろんである。

光透過部を部分的に形成する場合は、その他の部分が光源装置407からの光を遮るように構成すればよく、例えば、部分的に打ち抜き部などを形成した不透明のシート材や樹脂成形部品などの遮光性マスクを、ケース本体405や中皿406にインサート成形によって設けるようにすれば、これにより当該遮光性マスクの打ち抜き部によって部分的な光透過部を形成することができる。遮光性マスクについては、不透明塗料をケース本体405等に部分的に塗装することによっても形成することができる。遮光性マスクについてはさらにまた、デザインに従って打ち抜いた金属板の装着や、スパッタリングなどの方法によってもよいことはもちろんである。

また他方、ケース本体405や中皿406を全体的に遮光性の合成樹脂材で形成する一方で、これらケース本体405等に対して、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性ピースを別部品として組み込むことでも、光透過部を部分的に形成することができる。この場合にも、インサート成形を利用すれば、当該透光性ピースを簡単に合成樹脂製のケース本体405等に設けることができる。

このように部分的に光透過部を形成するようになれば、文字やマーク、そのほか所望のデザインに従って任意形状の各種形態の光透過部をケース本体405等に形成できることとなり、さらに優れた装飾効果を得ることができる。

《第7実施形態》

- 5 本実施形態にかかる収納ケース501は図19～図21に示すように、各種の収納物を収納する中皿502と、この中皿502を収納する収納凹所503が形成されたケース本体504と、ケース本体504の一端にヒンジ505を介して回動自在に連結されてケース本体504を開閉するとともに、ケース本体504の他端にフック手段506を介して係脱自在に係合されて当該ケース
- 10 本体504を閉止状態に維持する蓋体507と、蓋体507の裏面に設けられた光源装置508とから主に構成される。

- フック手段506は、ケース本体504に形成された切り欠き部509内にスライド自在に設けられたプッシュピース510と、プッシュピース510に形成されたフック用突起511と、蓋体507に形成されてフック用突起511
- 15 1に係脱自在に係合されるフック部512とから構成され、プッシュピース510がケース本体504内方へ押し込まれることにより、フック用突起511がフック部512から離脱されて、蓋体507を開くことができるようになっている。またヒンジ505は、フック手段506とは反対側においてケース本体504に形成されたヒンジ凹所513に、蓋体507から垂下させたヒンジ
- 20 ブロック514が挿入され、ケース本体504からヒンジブロック514にわたってヒンジピン515が挿入されることで構成される。

- 図示例にあっては、収納ケース501として、中皿502内に、化粧品やパフが収納される携帯用の化粧品容器が例示されている。しかしながら、収納ケース501としては、このような化粧品容器に限らず、宝石や装身具など、い
- 25 かなる収納物を収納するものであっても良いことはもちろんである。

蓋体507について説明すると、蓋体507の周縁部には、ケース本体504側へ向かって垂下させて外周壁516が形成され、これにより蓋体507の裏面507aには、外周壁516で取り囲んで組み付け用の凹部517が区画形成される。この組み付け用凹部517には、これを覆って封鎖するカバー5

18が図示しない係脱機構によって着脱自在に設けられる。そして、蓋体507の裏面507aと向かい合うカバー518の裏面518aには、当該カバー518で覆って光源装置508が取り付けられる。

カバー518は本実施形態にあつては、光源装置508からの光がこれを透過して外部に照射されるように、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材によって形成される。カバー518の素材はこの他、ガラスなどであってもよい。このカバー518の表面518bには、蓋体507の外周壁516の内周寸法よりも小さな外形寸法で凹所519が形成され、この凹所519には、外周壁516との間に隙間を隔てて鏡板520が取り付けられる。従って、鏡板520の周囲は、組み付け用凹部517内に照射されてカバー518を透過する光源装置508からの光によって照らし出されるようになっている。

さらに必要に応じて、蓋体507も、光源装置508からの光がこれを透過して外部に照射されるように、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材によって形成してもよい。このようにすれば、蓋体507は、これを透過する照射光によって、その表面507bが照らし出される。また、鏡板520の裏面にも必要に応じて、光源装置508からの光がカバー518を介して鏡板520の鏡面から照射されるように、銀メッキを部分的に除去した部分を形成するようにしても良い。

他方、カバー518の裏面518aには、鏡板520で隠蔽される位置に環状リブ521が形成され、光源装置508はこの環状リブ521で取り囲まれた窪み部522に配置される。光源装置508は、蓋体507の裏面507aに向けて配置されるRGB光源523と、このRGB光源523の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板524と、これら電子基板524およびこれを介してRGB光源523に電力を供給するボタン型電池などのバッテリー525とから構成される。RGB光源523は電子基板524上に直接実装されている。

RGB光源523としては、LEDや有機エレクトロルミネセンス(EL)素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントロー

ラを構成する電子部品には、RGB光源523の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子が含まれ、バッテリー525から電力が供給されることにより、プログラミングに従ってRGB光源523を発光させる。

- 5 RGB光源523の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発色させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源523
- 10 に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

- 他方、本実施形態にあつては、ケース本体504には、コントローラを制御する制御操作部として、感圧式のセンサ526a, 526bが設けられる。図示例にあつては、センサ526a, 526bは、ケース本体504に装着された中皿502の前縁部502aに、プッシュピース510を挟んで2箇所設け
- 15 られる。これらセンサ526a, 526bは、例えば一方が電源スイッチとして機能され、他方が発光状態を変化させる切換スイッチとして機能される。切換スイッチとして機能するセンサ526bは、例えば押された回数に従ってコントローラを制御し、RGB光源523のいずれかを発光させて色替えをしたり、あるいは上述した各種の発光のさせ方を変更するようになっている。

- 20 これらセンサ526a, 526bと光源装置508とは、リード線527を介して接続される。リード線527は、カバー518に形成された孔528、この孔528に連通させてヒンジブロック514に形成されたスリット529、ヒンジブロック514近傍のケース本体504の後端部に形成された通路530を介して、蓋体507の組み付け用凹部517からケース本体504と中皿
- 25 502との間の隙間にわたって配線され、一端がバッテリー525に他端がセンサ526a, 526bに接続される。

図示例にあつては、センサ526a, 526bを2つ設けたが、ON・OFF操作兼用の単一のセンサを設けるようにしてもよい。また、センサ526a, 526bに代えて、ボタン式のスイッチを用いるようにしてもよい。さらに、

センサ526a, 526bをケース本体504に設けたが、蓋体507に設けるようにしてもよい。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース501の作用について説明する。蓋体507を開いて、電源スイッチとして機能する一方のセンサ26a
5 に触れると、バッテリー525からRGB光源523や電子基板524に電力が供給される。次いで、切換スイッチとして機能する他方のセンサ526bに触れると、コントローラが制御され、このセンサ526bに触れた回数に応じてコントローラにより、RGB光源523は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。

10 このRGB光源523の光は、カバー518を介して、開かれた蓋体507の裏面507a側をさまざまな態様で照らし出す。また、RGB光源523からの照射光は、蓋体507を透過してその表面507bを照らし出す。他方、一方のセンサ26aに再度触れることにより、RGB光源523は消灯される。

このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース501にあつては、
15 制御操作部であるセンサ526a, 526bによって、RGB光源523の発光をコントロールするコントローラを制御するようにしたので、RGB光源523のON・OFFはもちろんのこと、RGB光源523の発光のさせ方を好みに応じて変更することができ、これにより視覚に訴える、光による多種多様な演出効果を、センサ526a, 526bを操作する使用者の選択に従って自
20 在に得ることができ、収納ケース501に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新規な装飾を施すことができる。

すなわち、センサ526a, 526bでコントローラを制御することで、RGB光源523の照射光による多種多様な視覚的効果を切り換えることができ、
同じ製品であっても、光の作用によって醸し出される表情を使用者の好みに応
25 じて変えることができる。

また、蓋体507に光源装置508を覆って、光を透過させる透明もしくは半透明のカバー518を設けたので、光をカバー518を通して発散させて、光の拡散や乱反射など、さまざまな視覚的効果を付加することができる。

また、蓋体507を、光を透過させる透明もしくは半透明に形成したので、

蓋体 507 の外観にも、光による演出効果を利用した特徴的な雰囲気装飾を施すことができる。

《第 8 実施形態》

本実施形態は繰り上げ式の棒状物の収納ケースを示すものである。この収納
5 ケース 601 は図 22～図 24 に示すように、中空円筒体状のケース本体 602 の内側に、中空円筒体状のカバー 603 が設けられるとともに、このカバー 603 の内側に、中空円筒体状の保持体 604 が設けられ、かつ、この保持体 604 に、口紅などの棒状物 605 が保持されることにより概略構成され、そして、ケース本体 602 の縮径された上端部 602a には、カバー 603 の上
10 部を覆って、キャップ 606 が着脱可能に装着されるようになっている。

図示例にあっては、繰り上げ式の棒状物収納ケース 601 として、保持体 604 に、棒状物 605 として口紅が保持される口紅容器が例示されている。しかしながら、繰り上げ式の棒状物収納ケース 601 としては、このような口紅容器に限らず、いかなる棒状物 605 を収納するものであっても良いことはもちろんである。
15

ケース本体 602 は上下端が開放されて形成され、その内周にはその軸方向である上下方向に、棒状物 605 の繰り上げ量に対応させて相当の長さにならって螺旋溝 607 が形成される。そして、ケース本体 602 の開放された下端には、リング状の底板 608 が取り付け取り外し可能に螺着される。カバー 603 はこれも上下端が開放されて形成され、かつケース本体 602 より長く形成されて、このケース本体 602 の内側に相対回転可能に設けられる。そして、カバー 603 をケース本体 602 に取り付けた状態では、カバー 603 の上端部 603a がケース本体 602 の上端部 602a から外方へ突出される。また、カバー 603 がケース本体 602 に取り囲まれる部分には、螺旋溝 607 の形成部分に対応させて縦スリット 609 が形成される。
20
25

保持体 604 は、上下方向中央部に仕切り部 604a を有し、かつ上下端が開放されて形成され、カバー 603 の内側に上下方向へ相対移動可能に設けられる。そして、保持体 604 の下端部外側からは、縦スリット 609 を貫通して螺旋溝 607 に係合する突起 10 が一体に突設される。また、保持体 604

の仕切り部 604a 上に、棒状物 605 が保持される。キャップ 606 は、上端が閉止された中空円筒体状に形成される。このキャップ 606 は、ケース本体 602 の上端部 602a に形成されたリブ 602b に嵌合されて、ケース本体 602 に着脱可能に装着される。

- 5 以上のように構成された本実施形態の繰り上げ式の棒状物収納ケース 601 には、図 23 に示すように棒状物 605 を収納してキャップ 606 を装着した状態では、ケース本体 602 およびキャップ 606 がその外観を形成し、カバー 603 および保持体 604 はその内部に隠蔽される。他方、棒状物 605 を取り出す際には、キャップ 606 を取り外してケース本体 602 とカバー
- 10 603 とを相対回転、例えばケース本体 602 を右回転することにより、縦スリット 609 を貫通する保持体 604 の突起 10 が螺旋溝 607 に沿って移動する。すると、図 22 および図 24 に示したように保持体 604 が上方に繰り上げられ、棒状物 605 がカバー 603 の上端部 603a から突出される。また、棒状物 605 を収納するときには、ケース本体 602 とカバー 603 とを
- 15 反対方向に相対回転、例えばケース本体 602 を左回転することにより、突起 10 が螺旋溝 607 に沿って逆方向に移動されて保持体 604 は繰り下げられ、棒状物 605 がカバー 603 内に収納される。

そして特に、本実施形態にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケース 601 には、ケース本体 602 内に光源装置 611 が設けられるとともに、カバー

20 603 および保持体 604 には、光源装置 611 の光を透過させる光透過部が形成される。光源装置 611 は、ケース本体 602 内を上下移動する保持体 604 の仕切り部 604a 下に区画形成される空間部 S 内に、リング体 608 上に取り付けて設けられる。

この光源装置 611 は、保持体 604 およびカバー 603、ひいてはケース

25 本体 602 に周囲を取り囲まれて配置される RGB 光源 612 と、この RGB 光源 612 の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板 613 と、これら電子基板 613 およびこれを介して RGB 光源 612 に電力を供給するボタン型電池などのバッテリー 614 と、バッテリー 614 から電子基板 613 などへの電力供給を断続するスイッチ 615

とが、これらを上下に積み重ねる配置で取り付けて構成され、リング体 608 の脱着で部品交換可能とされる。RGB光源 612 は電子基板 613 上に直接実装されている。またスイッチ 615 は、その操作用押しボタン 615a がリング板 608 の孔部 608a を介して、下方に露出される。

- 5 RGB光源 612 としては、LED や有機エレクトロルミネセンス (EL) 素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、RGB光源 612 の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれた IC チップ等の制御素子が含まれ、スイッチ 615 によってバッテリー 614 から電力が供給されることにより、プログラミングに
10 従って RGB光源 612 を発光させる。

- RGB光源 612 の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発色させるなど、どのようなプ
15 ログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源 612 に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

- 他方、カバー 603 および保持体 604 に形成される光透過部については本実施形態にあつては、これらカバー 603 および保持体 604 それ自体が無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材で形成されて、全体が光透
20 過部として機能するように構成されている。しかしながら、光透過部については、これらカバー 603 や保持体 604 の一部を、光透過性を呈する合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性材料で形成し、残りの部分を遮光性の材料で形成するようにして、これらカバー 603 等に部分的に形成するよう
25 どもを合成樹脂材で射出成形する際に、あらかじめ透光性材料を成形型内に取り付けておき、射出される遮光性の合成樹脂材と一体化するなどの方法で製造すればよい。

次に、上記構成を備える本実施形態の繰り上げ式の棒状物収納ケース 601 の作用について説明する。キャップ 606 をケース本体 602 から取り外した

状態でスイッチ615を入れると、バッテリー614からRGB光源612や電子基板613に電力が供給され、RGB光源612は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。このRGB光源612の光は図23に示すように、当該RGB光源612を取り囲む保持体604やカバー603に照射され、これらを透過しつつこれらカバー603等を様々な態様で照らし出す。

そして特に、保持体604を繰り上げて棒状物605をケース本体602から突出させると、図24に示すように棒状物605とともに保持体604の仕切り部604aが相当の高さ位置に上昇するので、棒状物605によって光が遮られることが少なくなって、RGB光源612の光は、ケース本体602の上端部602aから突出しているカバー603の上端部603aをより強い光で照らし出すことができる。そして他方、スイッチ615を切ると、RGB光源612は消灯される。

このように以上説明した本実施形態にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケース601にあっては、ケース本体602内に光源装置611を設けるとともに、カバー603および保持体604を、透光性を呈するように形成していて、ケース本体602内で発せられるRGB光源612の光は、当該ケース本体602に設けられたカバー603、並びに当該カバー603に設けられた保持体604を透過して、それらを照らし出すこととなり、これらカバー603や保持体604に、光を利用した多種多様な加飾を施すことができ、繰り上げ式の棒状物収納ケース601に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

また、コントローラでRGB光源612の発光をコントロールするようにして、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果が得られ、繰り上げ式の棒状物収納ケース601に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

図25には、キャップ606の変形例が示されている。この変形例にあっては、キャップ606には、カバー603を透過したRGB光源612の光を透過させる光透過部16が形成されている。図示例にあっては、キャップ606

の頂面に透光部材 6 1 7 が一体的に設けられている。この透光部材 6 1 7 としては、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材を用いることができ、これをインサート成形によってキャップ 6 0 6 に組み込むようにすればよい。このような変形例にあっても、上記実施形態
5 と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。

特にこの変形例にあっては、ケース本体 6 0 2 にキャップ 6 0 6 を装着してカバー 6 0 3 等を覆っていても、ケース本体 6 0 2 内で発せられる RGB 光源 6 1 2 の光は、カバー 6 0 3 や保持体 6 0 4 を介して、キャップ 6 0 6 の透光部材 6 1 7 を照らし出すこととなり、キャップ 6 0 6 を装着している棒状物 6
10 0 5 の不使用時であっても光を利用した多種多様な加飾を得ることができて、繰り上げ式の棒状物収納ケース 6 0 1 に、特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。キャップ 6 0 6 は、その全体を透光性の材料で形成してもよいことはもちろんである。

また、ケース本体 6 0 2 に、RGB 光源 6 1 2 の光を透過させる光透過部を
15 形成するようにしてもよい。このようにすれば、ケース本体 6 0 2 内で発せられる RGB 光源 6 1 2 の光は、カバー 6 0 3 や保持体 6 0 4、キャップ 6 0 6 のみならず、そのままケース本体 6 0 2 の表面も照らし出すこととなり、このようにしても光を利用した多種多様な加飾を得ることができて、繰り上げ式の棒状物収納ケース 6 0 1 に、特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは
20 は斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。このケース本体 6 0 2 についても、その全体を透光性の材料で形成してもよいことはもちろんである。

《第 9 実施形態》

本実施形態にかかる収納ケース 7 0 1 は図 2 6 および図 2 7 に示すように、上端部に開口部 7 0 2 が形成されるとともに、その内部に内容物として、液状
25 物や粉状物、クリーム状物を収納する円筒体状のケース本体 7 0 3 と、このケース本体 7 0 3 の平面外形輪郭に沿って円筒体状に形成され、開口部 7 0 2 を開閉すべくケース本体 7 0 3 に分離可能に着脱される蓋体 7 0 4 とから主に構成される。

蓋体 7 0 4 について説明すると、これは、ケース本体 7 0 3 に着脱される着

脱ピース705と、この着脱ピース705に装着されるカバー706とから構成される。着脱ピース705は、その下面にケース本体703の開口部702周縁と圧接されるシールパッキン707が設けられた円板状の蓋部708と、この蓋部708の外周縁から下方に垂下されて、ケース本体703上端部に形成されたネジ部709と螺合されるネジ部710が形成された環状スカート部711と、蓋部708の外周縁から上方へ起立されて、その内部に上方へ開放された凹所712を区画形成する環状周壁部13とから構成される。

そして蓋体704は、そのネジ部710がケース本体703のネジ部709に螺合されることにより、ケース本体703から分離可能に着脱され、これによりケース本体703、ひいてはその開口部702が蓋体704によって開閉されるようになっている。しかしながら、蓋体704のケース本体703に対する装着は、ネジ部709、710に限らず、周知の径嵌合などによってもよいことはもちろんである。カバー706は、環状周壁部13の内周に沿う円板状に形成され、環状周壁部13内方に凹所712を覆って着脱自在に取り付けられる。

そして本実施形態にあつては、着脱ピース705とこれに装着されたカバー706との間には、蓋体704内部に組み込んで光源装置714が設けられる。具体的には、カバー706に覆われた凹所712の底面となる蓋部708の上面に、これに載置して光源装置714が設けられる。光源装置714は、凹所712を覆うカバー706に向けて配置される、複数の光素子からなるRGB光源715と、このRGB光源715の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板716と、これら電子基板716およびこれを介してRGB光源715に電力を供給するボタン型電池などのバッテリー717とから構成される。

図示例にあつては、蓋部708上面の中央部には、これより鉤状に突出させてバッテリー717を着脱自在に保持する係止爪719が形成されるとともに、この係止爪719を取り囲む蓋部708の周縁部上に、環状に形成された電子基板716が取り付けられ、この環状の電子基板716上にその周方向に適宜間隔を隔てて複数の光素子（RGB光源715）が直接実装される。

RGB光源715の光素子としては、LEDや有機エレクトロルミネセンス（EL）素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、RGB光源715の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子が含まれ、図示しないスイッチによってバッテリー717から電力が供給されることにより、プログラミングに従ってRGB光源715を発光させる。

RGB光源715の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発色させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源715に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

また、スイッチについては図示していないけれども、例えば、手動のメインスイッチおよび手動のサブスイッチの両方を蓋体704に設け、メインスイッチのオン・オフによって光源装置714の作動・非作動を切り換え、サブスイッチのオン・オフによって光源装置714の発光・消灯を切り換えるようにし、メインスイッチの「オン」状態でサブスイッチを「オン」とすることで、RGB光源715が発光するようにすればよい。サブスイッチについては、蓋体704およびケース本体703のネジ部709、10に、バッテリー717と導通される接点を設けておき、蓋体704をある程度ねじ込んだ位置で接点が接触し、これによりRGB光源715を発光させるなどの方法もある。もちろん、メインスイッチのみを設けて、そのオン・オフ操作のみで発光させるようにしてもよい。

そして特に、蓋体704には、RGB光源715の光を透過させる光透過部が形成される。本実施形態にあつては、着脱ピース705は光を透過させない金属製や合成樹脂製などの遮光性の素材で形成されたり、あるいは遮光性の着色が施される一方で、蓋体704を構成するカバー706全体が、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性の素材で形成されて、当該カバー706全体が光透過部として形成され

る。そしてカバー706は、RGB光源715からの光を凹所712内から外方へと照射させて、その全体が当該光によって照らし出されるようになっている。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース701の作用について説明する。図示しないメインスイッチを入れると、バッテリー717からRGB光源715や電子基板716に電力が供給され、RGB光源715は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。このRGB光源715の光は、光透過部としてのカバー706全体から外部へ向かって照射され、収納ケース701の外観の一部をなす蓋体704のカバー706表面全体を様々な態様で照らし出す。メインスイッチを切ると、RGB光源715は消灯される。

以上説明した本実施形態にかかる収納ケース701にあつては、着脱ピース705とカバー706との間に設けた光源装置714からの光が、その全体を透光性素材で形成したカバー706から外方へ透過して、当該カバー706の表面全体が照らし出されるようになっている。これにより、収納ケース701の表面の一部をなす蓋体704のカバー706に、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、収納ケース701に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

また、光源装置714を、RGB光源715と、RGB光源715の発光をコントロールするコントローラを搭載した電子基板716と、これら電子基板716およびRGB光源715に電力を供給するバッテリー717とから構成し、コントローラでRGB光源715の発光をコントロールするようにしたので、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果を得ることができ、収納ケース701に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

さらに、蓋体704を着脱ピース705とカバー706とから構成し、これらの間に光源装置714を設けるようにして、蓋体704への光源装置714の組み付け作業を容易化することができる。本実施形態にあつては、カバー706を着脱ピース705に着脱自在に設けるようにしたので、バッテリー7

17の交換なども容易に行うことができる。

《第10実施形態》

図28および図29には、本発明にかかる収納ケースの第10実施形態が示されている。この実施形態の蓋体704にあっては、着脱ピース705が、環状周壁部を備えず、蓋部708および環状スカート部711からのみ形成され
5るとともに、カバー706は、凹所に代わる空間部720を形成すべく、その内周の適宜位置に蓋部708と係止される段部721が形成された円筒体状に形成され、脱着ピース705にその全体を覆って設けられる。またこの実施形態
10にあっては、カバー706は、そのおおよそ全体が遮光性の素材で形成される一方で、部分的に空間部720からカバー706の表面に向かってRGB光源715の光を透過させる光透過部722が形成される。

図示例にあっては、カバー706には、その表裏を貫通するスリット723が複数形成されるとともに、これらスリット723には、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性の素材
15材でなる透光部材724が設けられ、これにより光透過部722が形成される。カバー706を合成樹脂で成形する場合には、インサート成形を利用すれば、簡単に透光部材724をカバー706に設けることができる。そしてスリット723の透光部材724は、RGB光源715からの光を蓋体704外部へと透過させて、当該スリット723が照らし出されるようになっている。このよ
20うな第2の実施形態にあっても、第1の実施形態と同様な作用・効果を得ることができることはもちろんである。

殊に、このように部分的に光透過部722を形成するようになれば、文字やマーク、そのほか所望のデザインに従って任意形状の各種形態の光透過部722を蓋体704に形成できることとなり、さらに優れた装飾効果を得ることが
25できる。

《第11実施形態》

図30および図31には、本発明にかかる収納ケースの第11実施形態が示されている。この実施形態の蓋体704にあっては、第10の実施形態のカバー706が全体的に透光性素材で形成されている。この実施形態では、RGB

光源 715 からの光によって、蓋体 704 全体、すなわち脱着ピース 705 全体を覆うカバー 706 全体を照らし出すことができるようになっている。このような実施形態にあっても、上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。

- 5 光透過部を部分的に形成する場合は、その他の部分が光源装置 714 からの光を遮るように構成すればよく、例えば、部分的に打ち抜き部などを形成した不透明のシート材や樹脂成形部品などの遮光性マスクを、蓋体 704 にインサート成形などによって設けるようにすれば、これにより当該遮光性マスクの打ち抜き部によって部分的な光透過部を形成することができる。遮光性マスクについて、不透明塗料を蓋体 704 に部分的に塗装することによっても形成す
- 10 ることができる。遮光性マスクについてはさらにまた、デザインに従って打ち抜いた金属板の装着や、スパッタリングなどの方法によってもよいことはもちろんである。

《第 12 実施形態》

- 15 第 12 実施形態にかかる収納ケース 801 は図 32 および図 33 に示すように、内容物 C として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するガラス製もしくは合成樹脂製などの円筒体状のケース本体 802 と、このケース本体 802 の下方部分に着脱自在に装着される外装体 803 と、この外装体 803 に設けられる光源装置 804 とから主に構成される。ケース本体 802 は、ネジ式の
- 20 キャップ 805 で開閉され、キャップ 805 を取り外すことにより内容物 C を取り出すことができるようになっている。

- 外装体 803 は、接地面に置く際の座になるとともに、ケース本体 802 の下方部分を取り囲んで覆いとなる中空円錐台形状の台座 806 と、この台座 806 の高さ方向ほぼ中央部に、これよりその内方へ張り出して設けられ、ケー
- 25 ス本体 802 の底部 802a を載せるための環状の支持部 807 と、この支持部 807 の内周縁から垂下された周壁部 808 およびこの周壁部 808 下端から内方へ突出された環状フランジ部 809 からなり、ケース本体 802 の底部 802a との間に相当の空間部 S を区画形成する収納部 810 とが一体成形されて形成される。そしてケース本体 802 は、その底部 802a が支持部 80

7に当接するまで台座806内に挿入されることで、外装体803に取り付けられ、これにより収納ケース801が構成されるようになっている。

そして本実施形態にあつては、外装体803の収納部810に組み付けて、光源装置804が設けられる。光源装置804は、ケース本体802の底部802aと収納部810との間の空間部S内に配置されるRGB光源811と、このRGB光源811の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板812と、これら電子基板812およびこれを介してRGB光源811に電力を供給するボタン型電池などのバッテリー813とから構成される。RGB光源811は電子基板812上に直接実装されている。図示例にあつては、バッテリー813は、環状フランジ部809の下面から鉤状に突出された係止爪814によって、収納部810に対し着脱自在に保持される。また外装体803の台座806内には、係止爪814と台座806との隙間に位置させて、光源装置804をオン・オフするためのスイッチ815が配設されている。

RGB光源811としては、LEDや有機エレクトロルミネセンス（EL）素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、RGB光源811の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子が含まれ、スイッチ815によってバッテリー813から電力が供給されることにより、プログラミングに従ってRGB光源811を発光させる。

RGB光源811の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発光させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源811に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

そして特に、外装体803には、RGB光源811の光を透過させる光透過部が形成される。本実施形態にあつては、外装体803全体が、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透

光性の素材で形成されて、当該外装体 803 全体が光透過部として形成される。そして外装体 803 は、RGB 光源 811 からの光を空間部 S 内から外方へと照射させて、その全体が当該光によって照らし出されるようになっている。また、本実施形態にあつてはケース本体 802 も、外装体 803 と同様に、その全体が透光性の素材で形成されて光透過部として形成され、RGB 光源 811 の光がケース本体 802 を透過して当該ケース本体 802 自体も、そしてまた内容物 C が透光性である場合には、この内容物 C をも照らし出すようになっている。

次に、上記構成を備える本実施形態の収納ケース 801 の作用について説明する。スイッチ 815 をオンすると、バッテリー 813 から RGB 光源 811 や電子基板 812 に電力が供給され、RGB 光源 811 は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従つて、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。この RGB 光源 811 の光は、光透過部としての外装体 803 全体から外部へ向かつて照射され、台座 806 などの外装体 803 表面全体を様々な態様で照らし出す。また、ケース本体 802 を透過する RGB 光源 811 の光によって、当該ケース本体 802 や内容物 C も様々な態様で照らし出される。スイッチ 815 を切ると、RGB 光源 811 は消灯される。

このように以上説明した本実施形態にかかる収納ケース 801 にあつては、外装体 803 に設けた光源装置 804 からの光が、その全体を透光性素材で形成した外装体 803 内方から外方へ透過されて、外装体 803 の表面全体が照らし出されるようになっている。これにより、外装体 803 の表面に、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、収納ケース 801 に、特徴的で固有の雰囲気を出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

また、ケース本体 802 もその全体を透光性素材で形成して、これにより光透過部が形成されるようにして、光源装置 804 の光がケース本体 802 自体を透過してこれを照らし出し、また内容物 C も照らし出すようになっている。これにより、外装体 803 のみならずケース本体 802 にも、光を利用した多種多様な加飾を施すことができ、収納ケース 801 に、光を利用した演出

効果を得ることができる。

さらに、光源装置 804 を、RGB 光源 811 と、RGB 光源 811 の発光をコントロールするコントローラを搭載した電子基板 812 と、これら電子基板 812 および RGB 光源 811 に電力を供給するバッテリー 813 とから構成
5 し、コントローラで RGB 光源 811 の発光をコントロールするようにしたので、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果を得ることができ、収納ケース 801 に、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

上記実施形態にあつては、ケース本体 802 にも光透過部を形成するように
10 その全体を透光性素材で形成するようにしたが、これに代えてその全体を遮光性の素材で形成してもよいことはもちろんである。

《第 13 実施形態》

図 34 および図 35 には、第 13 実施形態が示されている。この実施形態は、
15 ケース本体 802 全体を、窓部 816 を有する外装体 803 で覆うようにしたものである。図示例にあつては、ケース本体 802 がほぼ直方体状に形成されるとともに、外装体 803 もこれを包囲するほぼ直方体状に形成されている。具体的には外装体 803 は、ケース本体 802 の注出首部 817 が貫通される開口部 818 が上面に形成されるとともに、下面が開放され、さらに側面にケース本体 802 を露出させる上記窓部 816 が形成されたカバー体 819 と、
20 このカバー体 819 にこれとの間に設けた係脱機構 820 を介して着脱自在に取り付けられ、当該カバー体 819 の下面を封鎖する封止部材 821 とから 2 部品で構成される。

封止部材 821 は主に、ケース本体 802 の底部 802a を係止して支持する環状周壁部 822 と、この環状周壁部 822 の高さ方向ほぼ中央部から内方
25 へ向けて突出され、ケース本体 802 の底部 802a との間に空間部 S を形成する環状フランジ部 823 とが一体成形されて形成される。光源装置 804 は、環状フランジ部 823 に組み付けることにより、外装体 803 に設けられる。そして光源装置 804 の RGB 光源 811 は、ケース本体 802 の底部 802a と環状フランジ部 823 との間の空間部 S 内に配置される。またスイッチ 8

1 5は、環状フランジ部 8 2 3の下面に取り付けられる。

そしてこの第 1 3実施形態にあっても、外装体 8 0 3全体およびケース本体 8 0 2が、無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性素材で形成される。このような第 1 3の実施形態に
5 あっても、第 1 2実施形態と同様な作用・効果を奏することができる。

他方、上記いずれの実施形態にあっても、ケース本体 8 0 2を透光性素材で形成する一方で、外装体 8 0 3を遮光性の素材で形成するようにしてもよい。第 1の実施形態であれば、外装体 8 0 3から露出されたケース本体 8 0 2の上方部分が、R G B光源 8 1 1からの光で照らし出される外観が得られる。また、
10 第 2の実施形態の場合には、ケース本体 8 0 2のうち、窓部 8 1 6から露出されている部分が R G B光源 8 1 1の光によって照らし出される外観が得られる。すなわち、外装体 8 0 3を遮光性素材で形成することにより、透光性素材で形成した場合とはまた異なる外観を得ることができる。このような変形例であっても、上記実施形態と同様の作用・効果が得られることはもちろんである。

15 さらに、上記第 1 2・第 1 3のいずれの実施形態にあっても、外装体 8 0 3あるいはケース本体 8 0 2を、その全体を透光性素材で形成して、全体が照らし出されるようにした場合について説明したが、光透過部を、これら外装体 8 0 3等に部分的に形成するようにしてもよいことはもちろんである。

光透過部を部分的に形成する場合は、その他の部分が光源装置 8 0 4からの
20 光を遮るように構成すればよく、例えば、部分的に打ち抜き部などを形成した不透明のシート材や樹脂成形部品などの遮光性マスクを、外装体 8 0 3やケース本体 8 0 2にインサート成形したり、取り付けるようにすれば、これにより当該遮光性マスクの打ち抜き部によって上記窓部 8 1 6のように、部分的な光透過部を形成することができる。遮光性マスクについては、不透明塗料を外装
25 体 8 0 3等に部分的に塗装することによっても形成することができる。遮光性マスクについてはさらにまた、デザインに従って打ち抜いた金属板の装着や、スパッタリングなどの方法によってもよいことはもちろんである。

また他方、外装体 8 0 3やケース本体 8 0 2を全体的に遮光性の合成樹脂材で形成する一方で、これら外装体 8 0 3等に対して、無色もしくは有色の、透

明あるいは半透明の合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性ピースを別部品として組み込むことでも、光透過部を部分的に形成することができる。この場合にも、インサート成形を利用すれば、当該透光性ピースを簡単に合成樹脂製の外装体 803 等に設けることができる。

- 5 このように部分的に光透過部を形成するようになれば、文字やマーク、そのほか所望のデザインに従って任意形状の各種形態の光透過部を外装体 803 等に形成できることとなり、さらに優れた装飾効果を得ることができる。

以上、幾つかの実施の形態について説明したが、上記各実施形態は本発明の理解を容易にするためのものであり、本発明を限定して解釈するためのものではない。本発明はその趣旨を逸脱することなく変更、改良され得ると共に、本発明はその等価物も含まれる。

10

産業上の利用可能性

- 15 以上、本発明の一実施形態によって詳細に説明したように、本発明に係わる収納ケースによれば、収納ケースの外郭をなす外装部材の内側に光源装置を設けるとともに、前記外装部材に前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成することで、光を利用した多種多様な加飾が得られるようになして、特徴的で固有の雰囲気醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせる
- 20 ことができる。

請求の範囲

1. 収納ケースの外郭をなす外装部材の内側に光源装置を設けるとともに、前記外装部材に前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする収納ケース。
2. 前記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、前記蓋体の裏面に鏡板を取り付けた収納ケースにおいて、前記鏡板の裏面に、前記蓋体の裏面との間に位置させて設けられ、発光されて該蓋体の裏面から該鏡板の周縁にわたって光を照射するLED群と、前記鏡板の周縁にこれを取り囲んで設けられ、光を透過させる環状カバーと、前記LED群を発光させる電源と、前記LED群の発光をコントロールするコントローラとを備えたことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の収納ケース。
3. 前記蓋体が光を透過させる透明もしくは半透明に形成されていることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の収納ケース。
4. 前記鏡板裏面の銀メッキが部分的に除去されて、鏡面から光が照射されることを特徴とする請求の範囲第2項または第3項に記載の収納ケース。
5. 前記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、前記蓋体に光源装置を設けた収納ケースにおいて、前記光源装置が、RGB光源と該RGB光源の各色の発光量をコントロールするコントローラとを備えることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の収納ケース。
6. 前記ケース本体に前記蓋体がヒンジを介して回動自在に連結され、前記ケース本体に、前記光源装置に電力を供給するバッテリーが設けられるとともに、前記ヒンジに、前記バッテリーと前記光源装置とを前記蓋体の回動量に応じて導通させる接離可能な接点が設けられることを特徴とする請求項5に記載の収納ケース。
7. 前記蓋体が、光を透過させる透明もしくは半透明に形成されていることを特徴とする請求の範囲第5項または第6項に記載の収納ケース。
8. 前記蓋体には、前記RGB光源の光を反射させる反射部材が設けられていることを特徴とする請求の範囲第5項～第7項いずれかの項に記載の収納ケー

ス。

9. 前記蓋体には、前記光源装置を覆って、光を透過させる透明もしくは半透明のカバーが設けられていることを特徴とする請求の範囲第5項～第8項いずれかの項に記載の収納ケース。

5 10. 前記カバーには、前記光源装置を隠蔽する覆い部材が設けられていることを特徴とする請求の範囲第9項に記載の収納ケース。

11. 前記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、前記蓋体の裏面に光源装置を設けた収納ケースにおいて、前記蓋体に部分的に、前記光源装置の光を該蓋体の裏面から表面へ向かって透過させる光透

10 過部が形成されていることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の収納ケース。

12. 前記蓋体の裏面には、鏡板と、該鏡板の周囲に前記光源装置からの光を透過させるカバーとが設けられることを特徴とする請求の範囲第11項に記載の収納ケース。

13. 前記光透過部は、透明もしくは半透明な素材で形成された前記蓋体に部分的に遮光性マスクが設けられることによって形成されることを特徴とする請求の範囲第11項または第12項に記載の収納ケース。

14. 前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする請求の範囲第11項～第13項のいずれかの項に記載の収納ケ

20 ース。

15. 前記外装部材としてのケース本体内に収納物を収納する中皿が装着された収納ケースにおいて、前記ケース本体と前記中皿との間に光源装置を設けるとともに、前記ケース本体に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の収納ケース。

25 16. 前記中皿に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする請求の範囲第15項に記載の収納ケース。

17. 前記ケース本体に代えて前記中皿に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする請求の範囲第15項に記載の収納ケース。

18. 前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントロー

ラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする請求の範囲第 15 項～第 17 項のいずれかの項に記載の収納ケース。

5 19. 前記外装部材として、ケース本体とこのケース本体を開閉する蓋体とを有し、前記蓋体に光源装置を設けた収納ケースにおいて、前記光源装置が、光源と光源の発光をコントロールするコントローラとを備えるとともに、前記ケース本体および前記蓋体の少なくともいずれか一方に、前記コントローラを制御する制御操作部を設けたことを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の収納ケース。

10 20. 前記蓋体には、前記光源装置を覆って、光を透過させる透明もしくは半透明のカバーが設けられていることを特徴とする請求の範囲第 19 項に記載の収納ケース。

21. 前記蓋体が、光を透過させる透明もしくは半透明に形成されていることを特徴とする請求の範囲第 19 項または第 20 項に記載の収納ケース。

15 22. 収納ケースの外郭をなす外装部材であって内周に螺旋溝が形成された中空筒体状のケース本体と、該ケース本体内に設けられた光源装置と、前記収納ケースの外郭をなす外装部材であって上端部が前記ケース本体の上端部から突出されて当該ケース本体内に相対回転可能に設けられ、前記螺旋溝の形成部分に縦スリットが形成されるとともに、前記光源装置の光を透過させる光透過部
20 が形成された中空筒体状のカバーと、該カバー内に上下方向へ相対移動自在に設けられ、前記縦スリットを貫通して前記螺旋溝に係合する突起が形成されるとともに、前記光源装置の光を透過させる光透過部が形成され、棒状物を保持する保持体と、前記カバーを覆って前記ケース本体の上端部に着脱可能に装着されるキャップとを備えたことを特徴とする収納ケース。

25 23. 前記キャップには、前記カバーを透過した前記光源装置の光を透過させる光透過部が形成されることを特徴とする請求の範囲第 22 項に記載の（繰り上げ式の棒状物）収納ケース。

24. 前記ケース本体には、前記光源装置の光を透過させる光透過部が形成されることを特徴とする請求の範囲第 22 項または第 23 項に記載の収納ケース。

25. 前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする請求の範囲第22項～第24項のいずれかの項に記載の棒状物収納ケース。

5 26. 内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体と、このケース本体より分離可能に着脱されて当該ケース本体を開閉し、収納ケースの外郭をなす外装部材としての蓋体とを備えた収納ケースにおいて、前記蓋体に光源装置を設けるとともに、前記蓋体に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする収納ケース。

10 27. 前記蓋体が、前記ケース本体に着脱される着脱ピースと該着脱ピースに装着されるカバーとから構成され、前記光源装置が、これらカバーと着脱ピースとの間に設けられることを特徴とする請求の範囲第26項に記載の収納ケース。

15 28. 前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする請求の範囲第26項または第27項に記載の収納ケース。

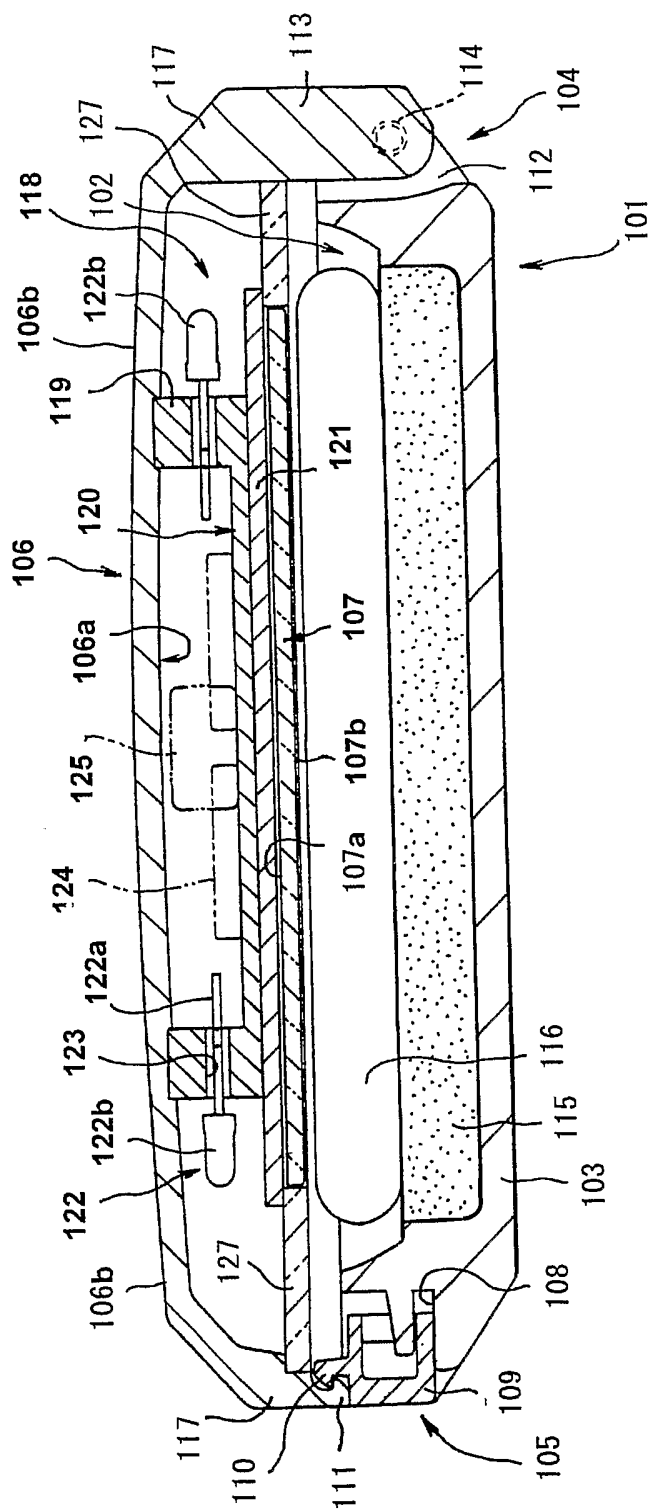
20 29. 内容物として、液状物や粉状物、クリーム状物を収納するケース本体を備えた収納ケースにおいて、前記ケース本体に収納ケースの外郭をなす外装部材としての外装体を設け、該外装体に光源装置を設けるとともに、前記外装体に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする収納ケース。

30. 前記ケース本体に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする請求の範囲第29項に記載の収納ケース。

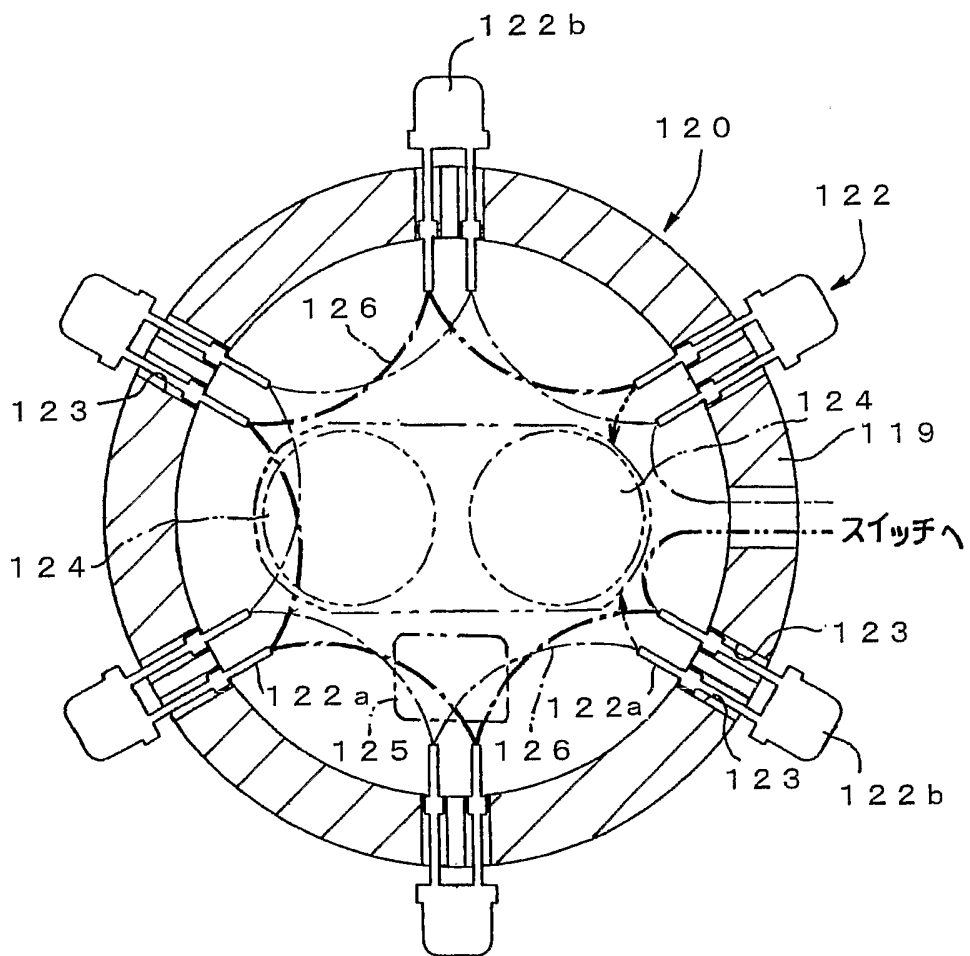
25 31. 前記外装体に代えて前記ケース本体に、前記光源装置の光を透過させる光透過部を形成したことを特徴とする請求の範囲第29項に記載の収納ケース。

32. 前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリーとからなることを特徴とする請求の範囲第29項～第31項いずれかの項に記載の収納ケース。

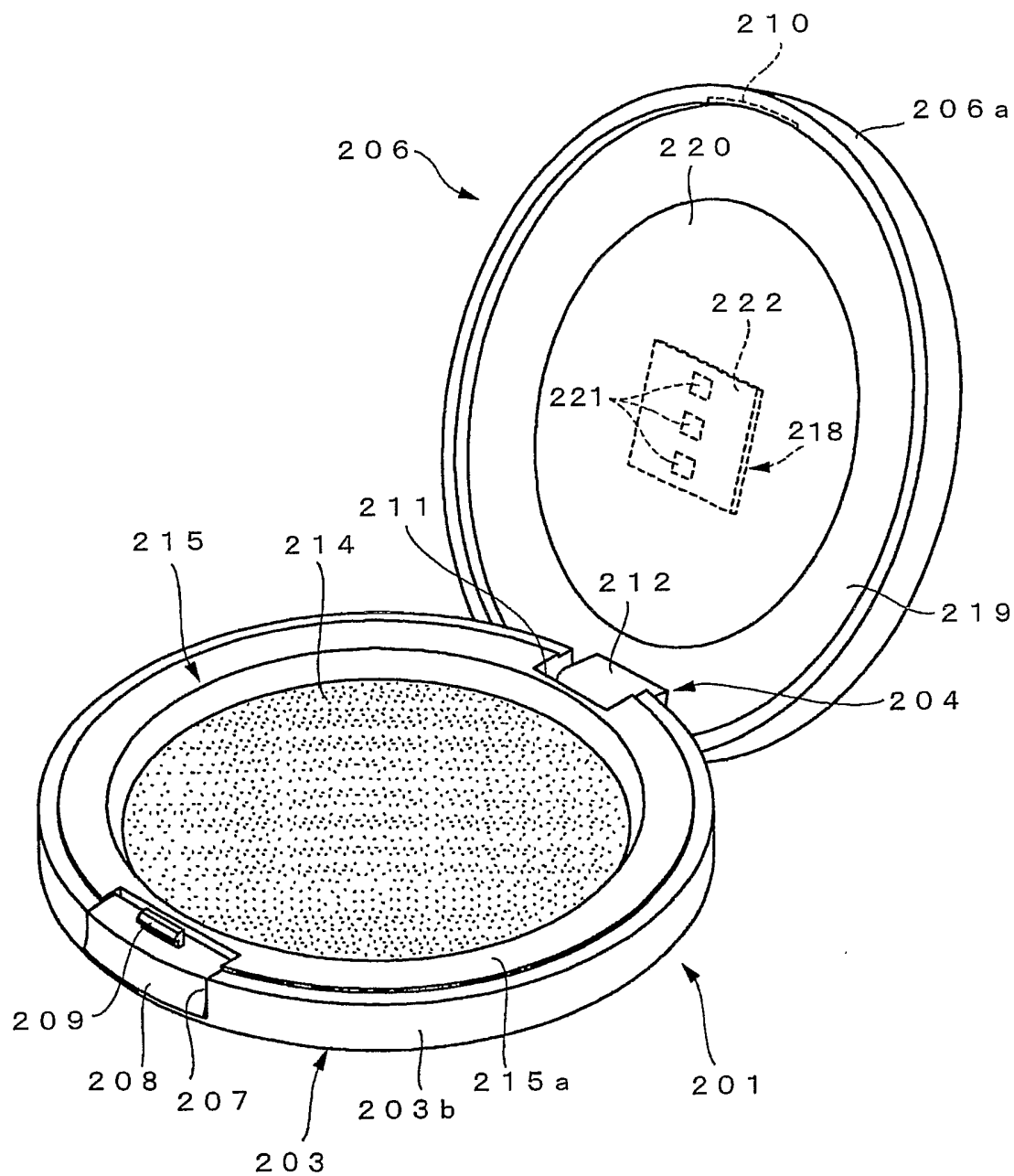
第 2 図



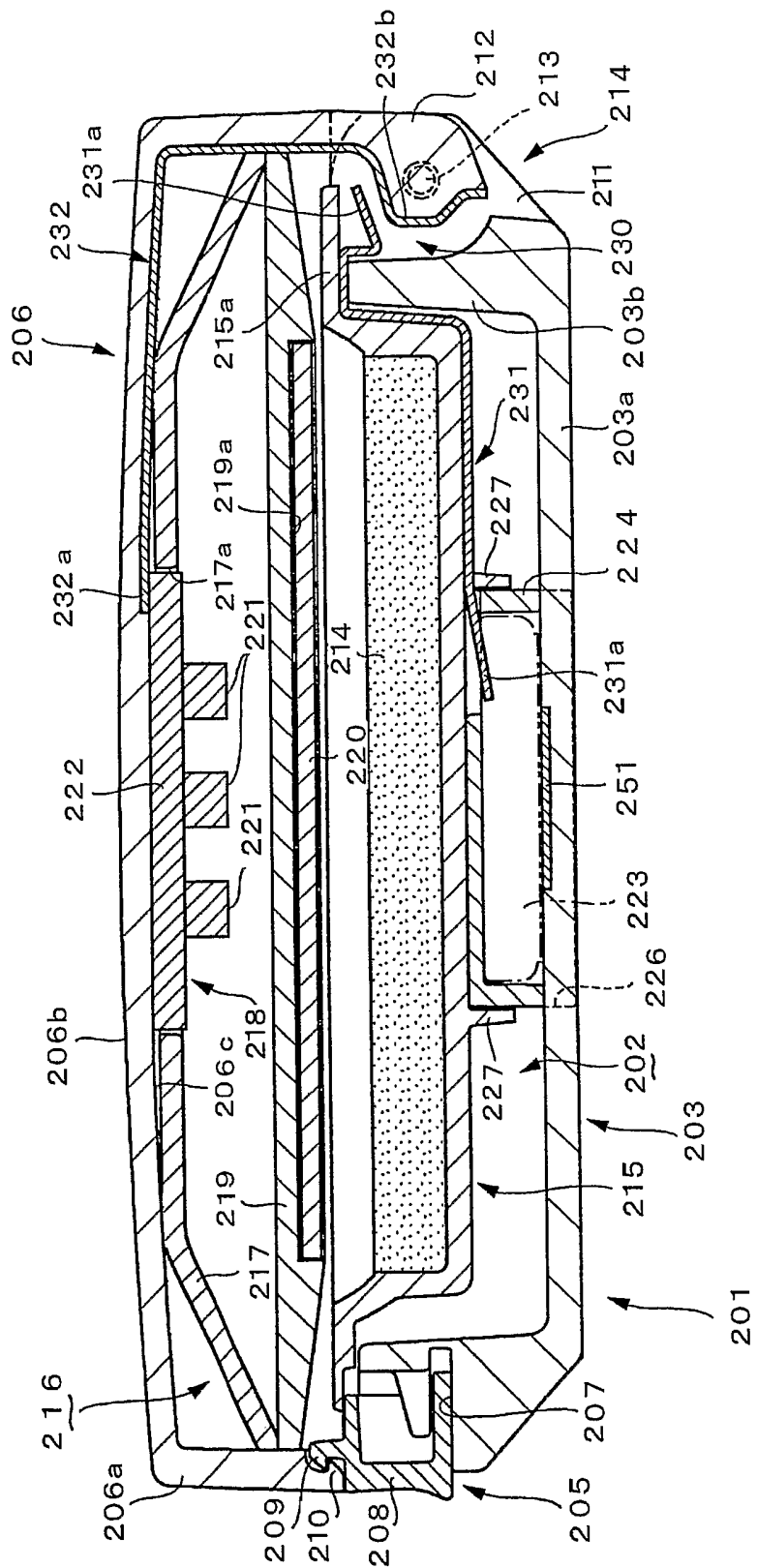
第 3 図



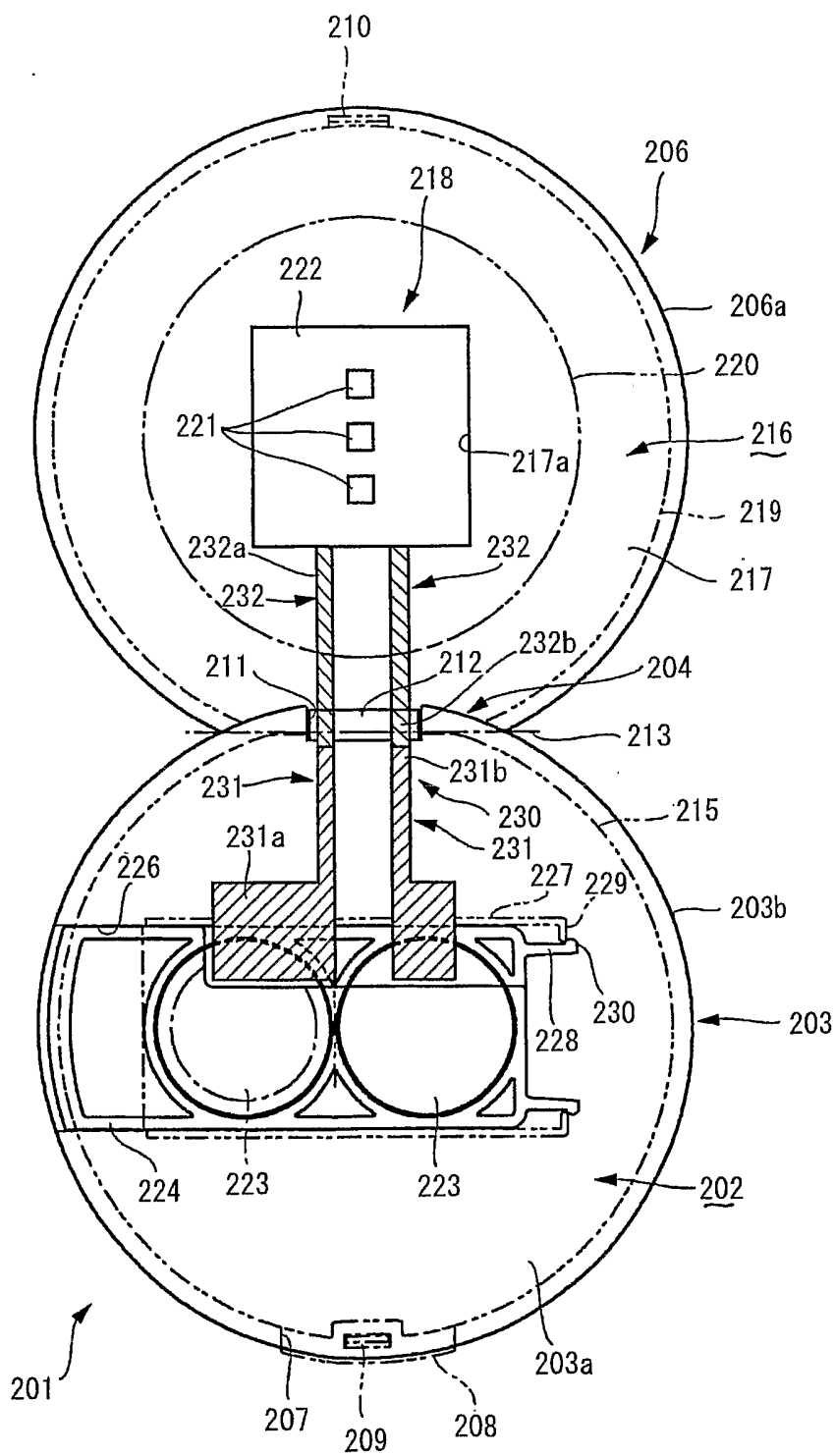
第 4 図



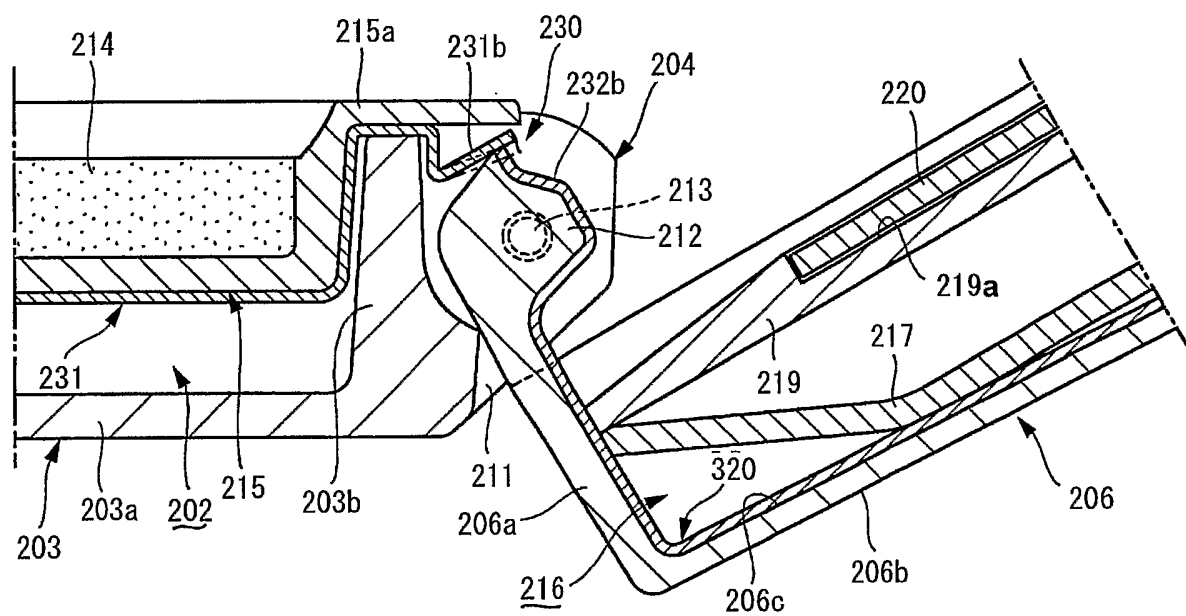
第 5 図



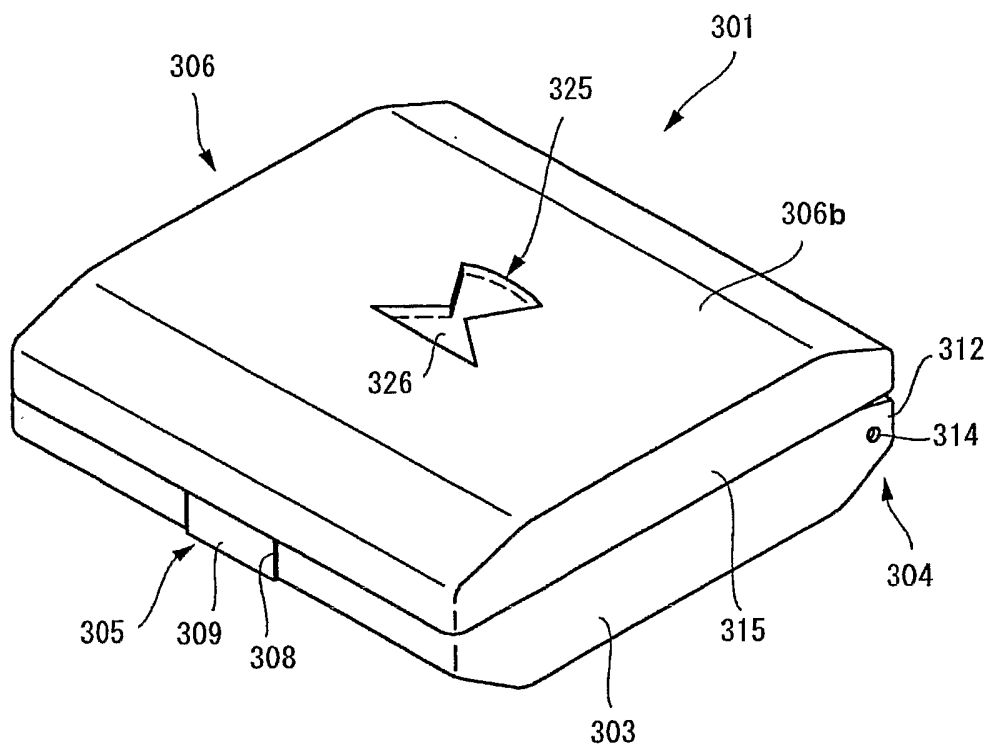
第 6 図



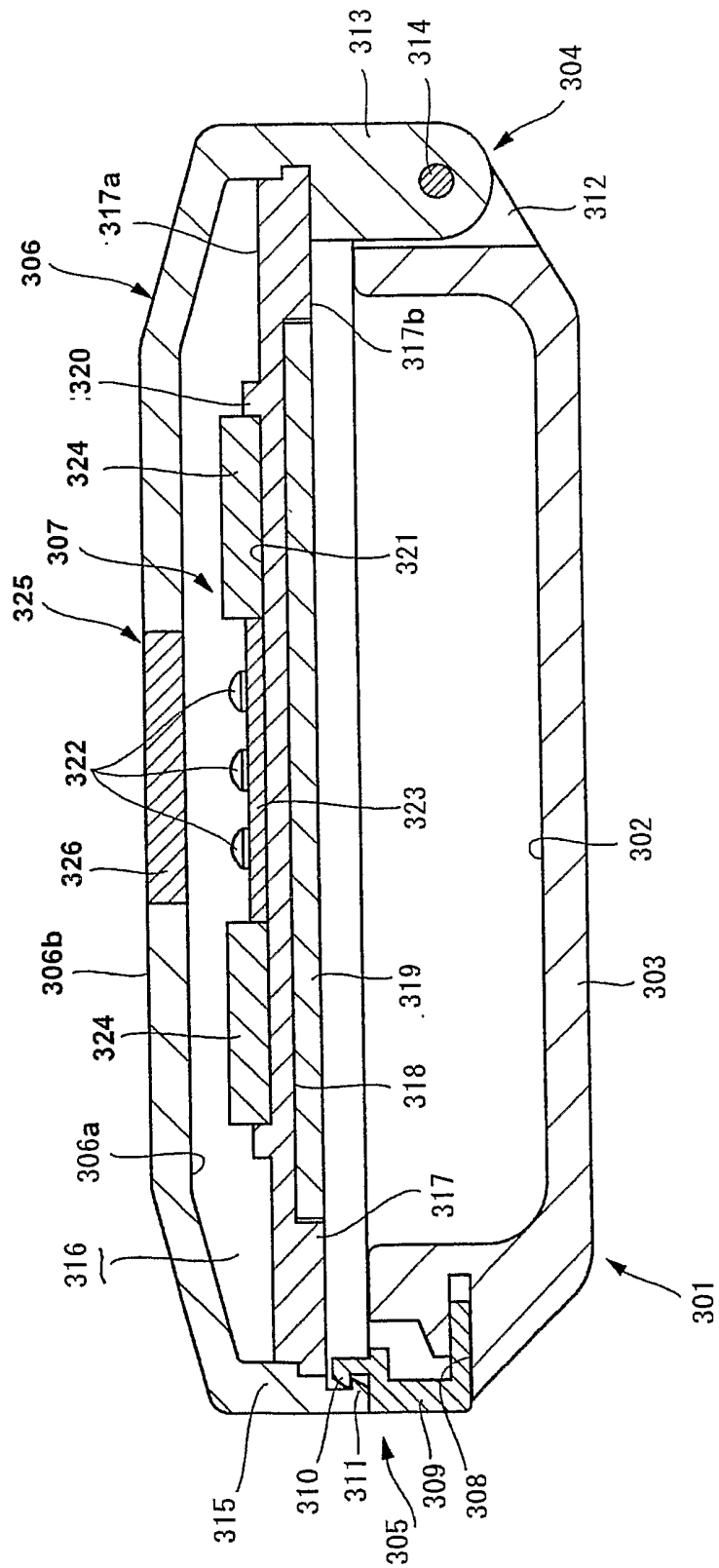
第 7 図

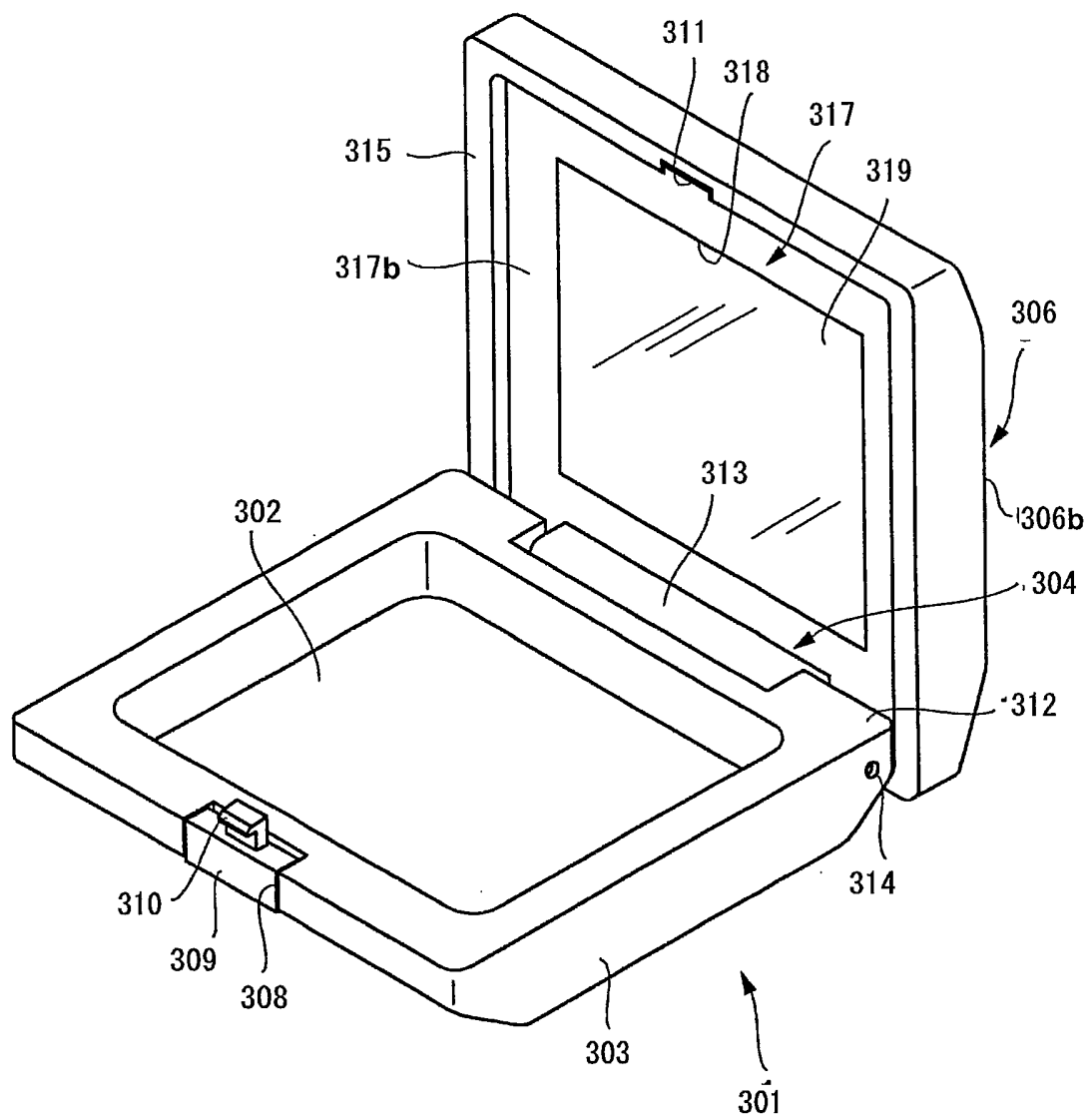


第 8 図

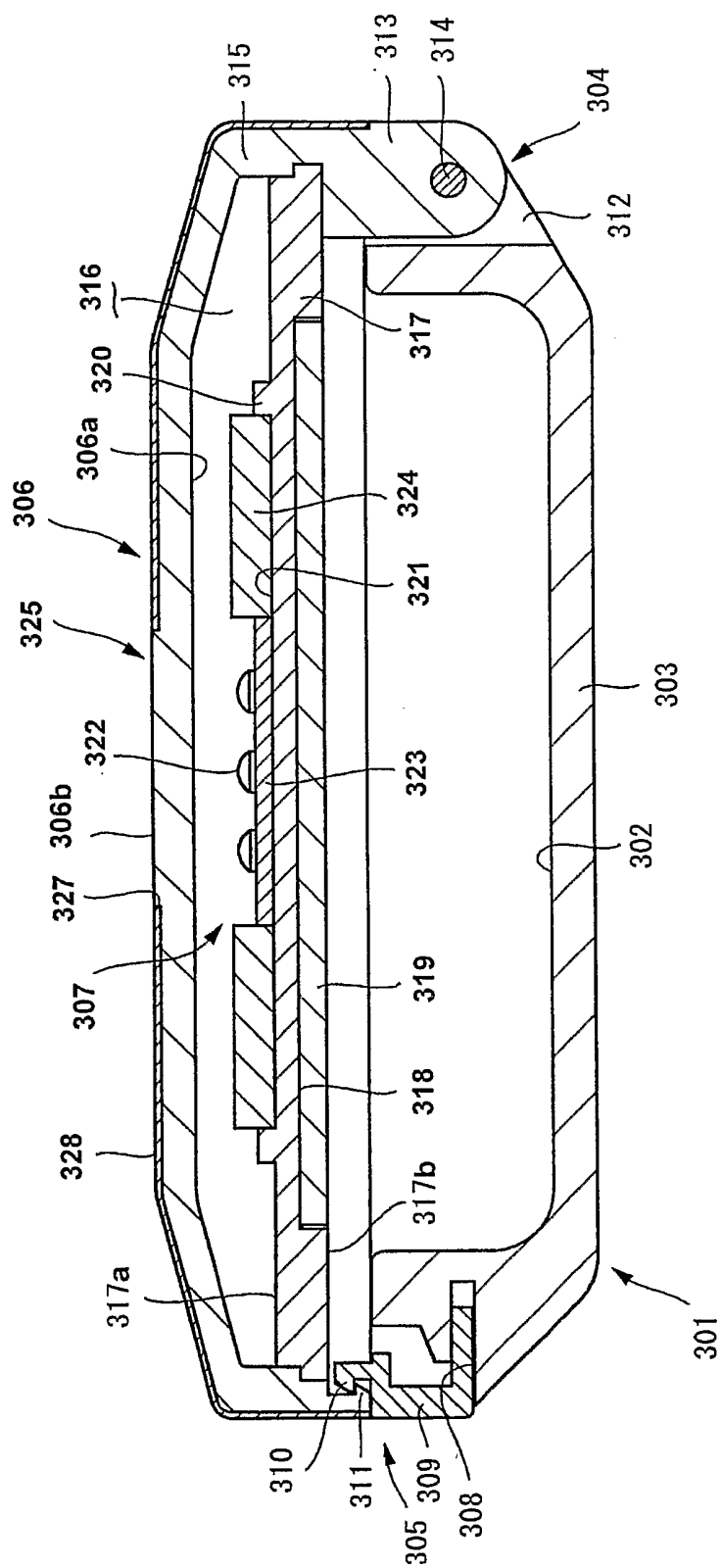


第 9 図

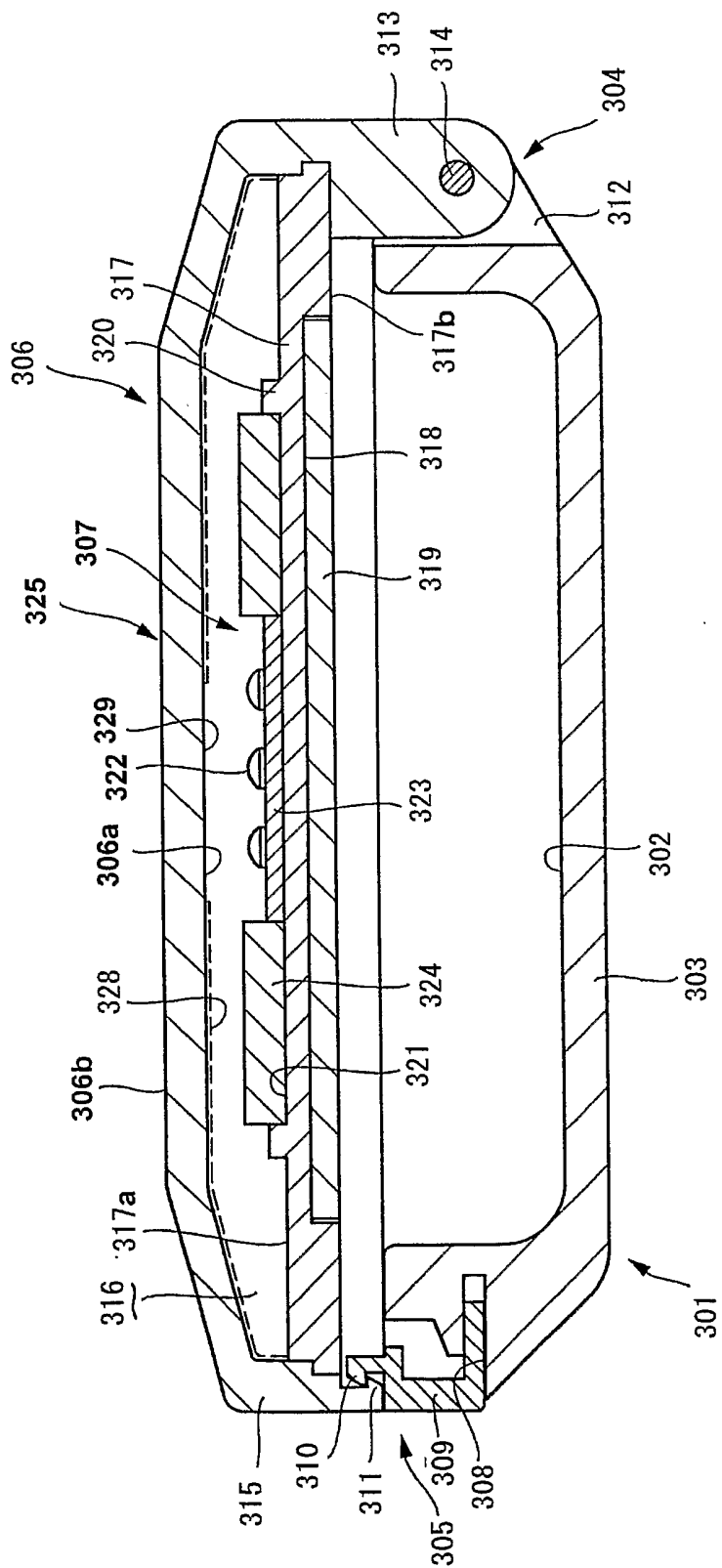


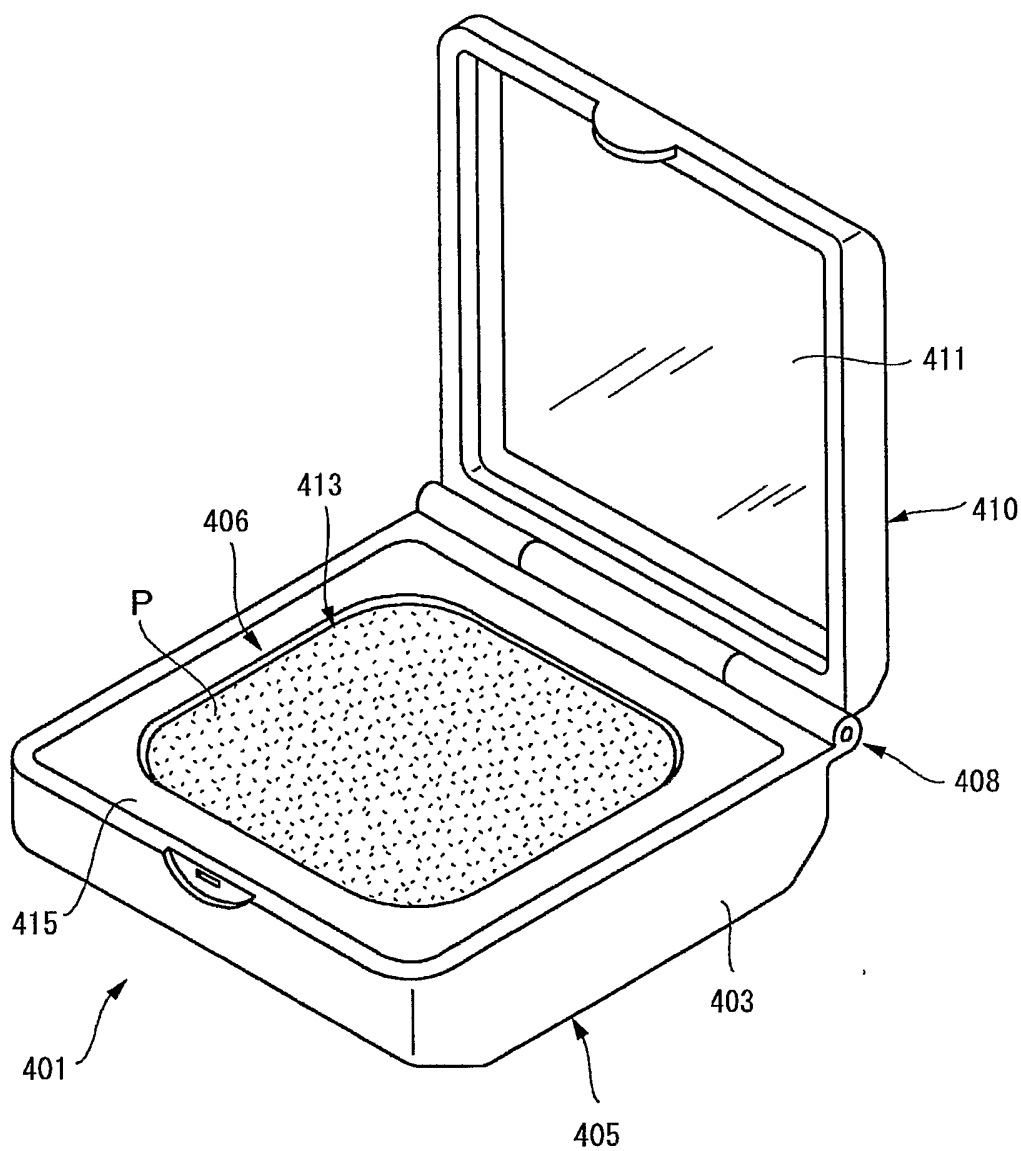


第 1 1 図

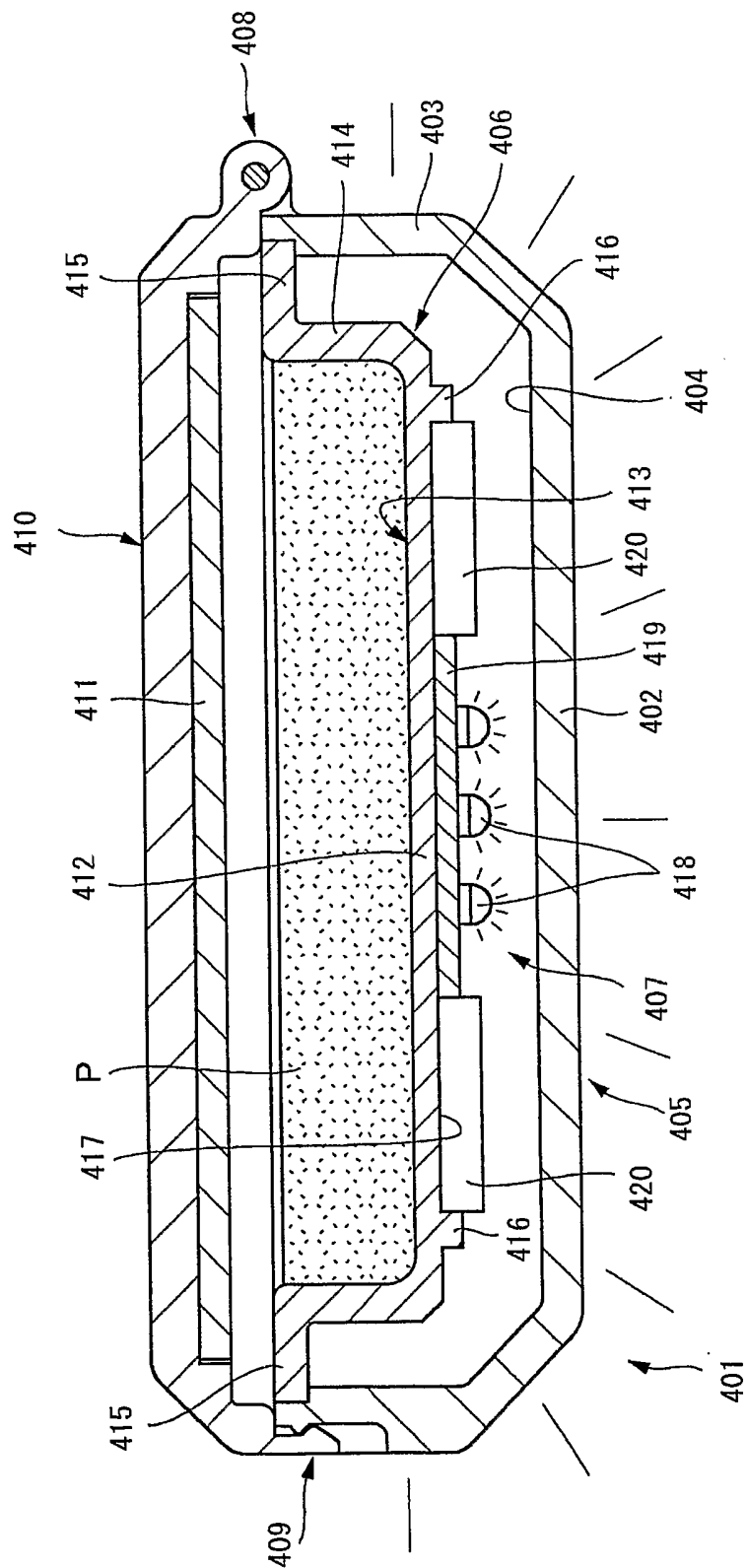


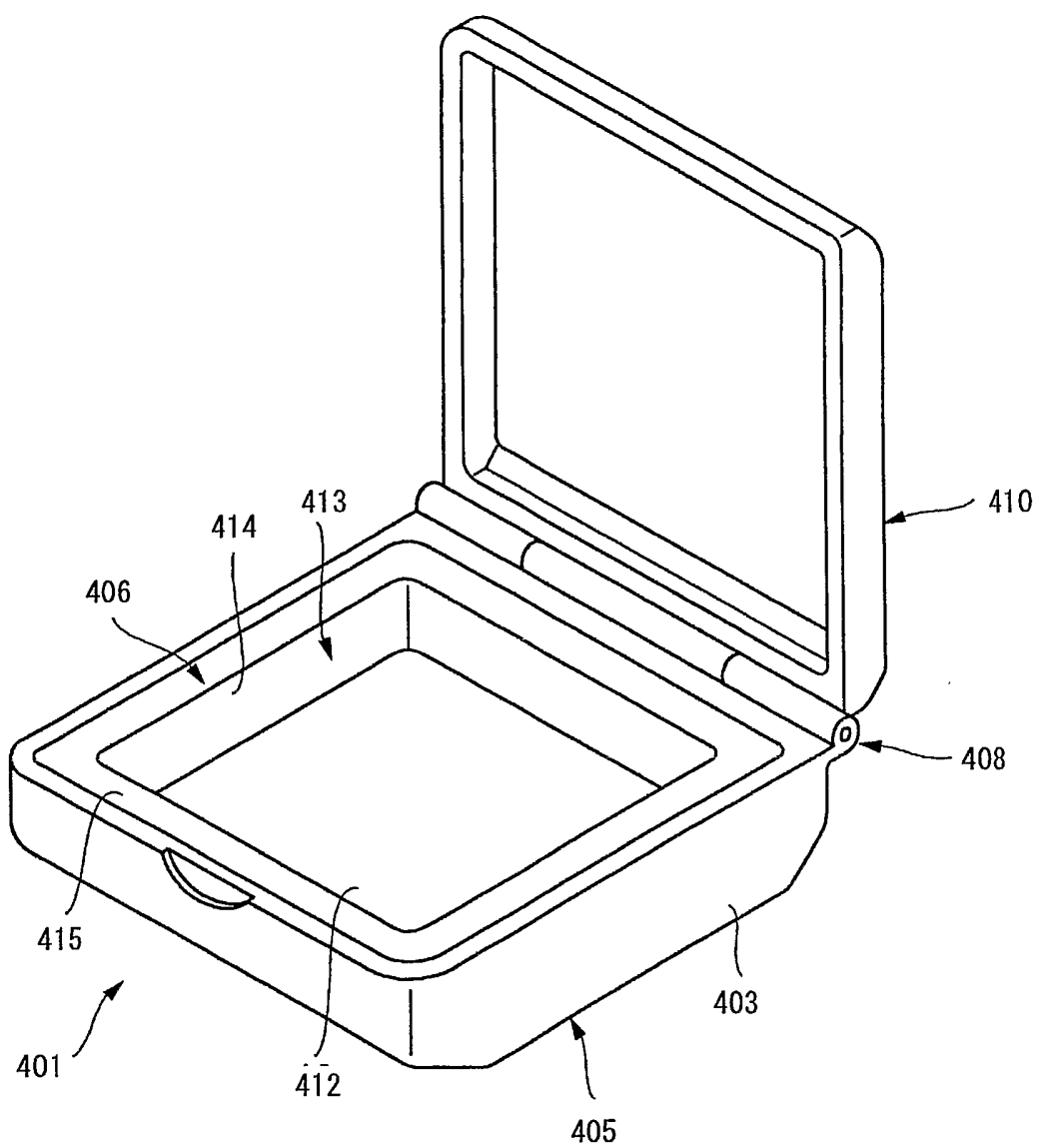
第 1 2 図



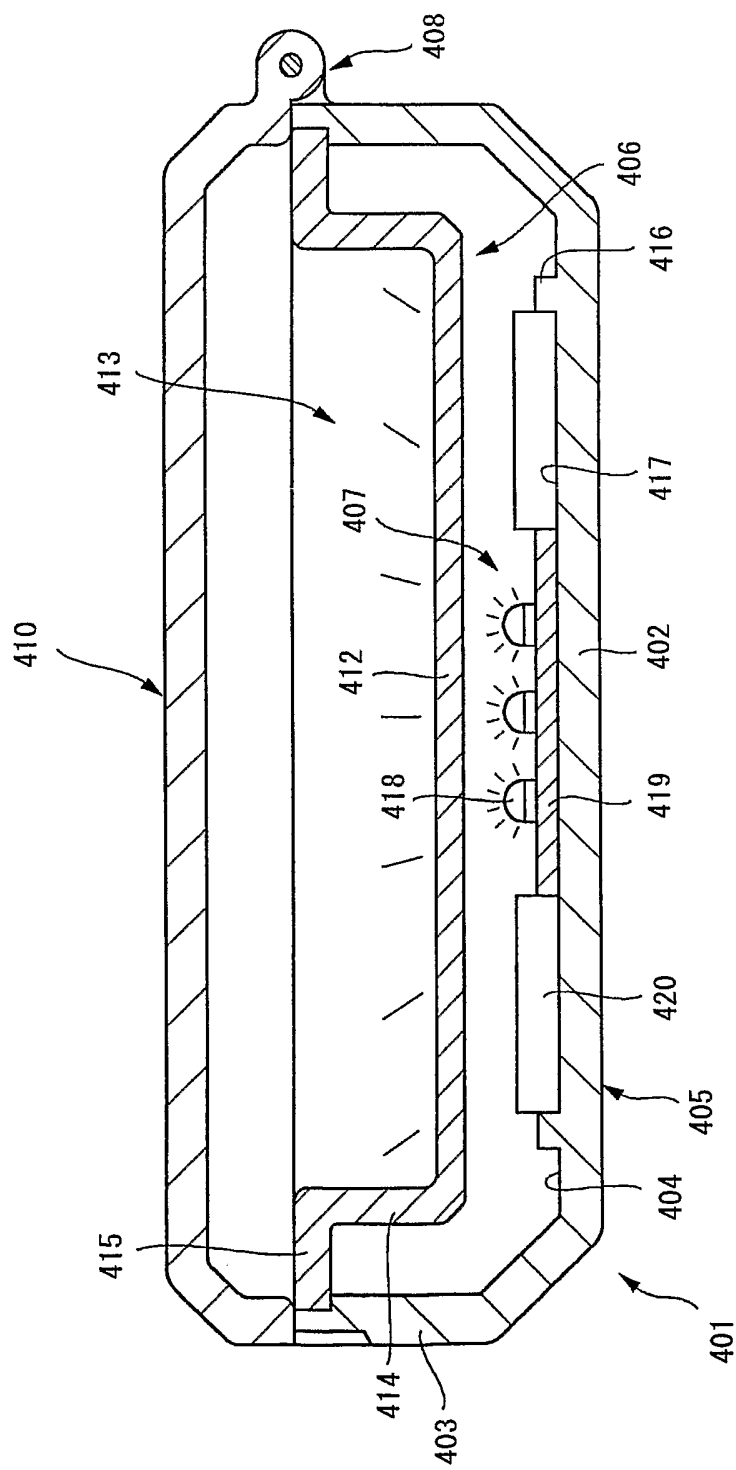


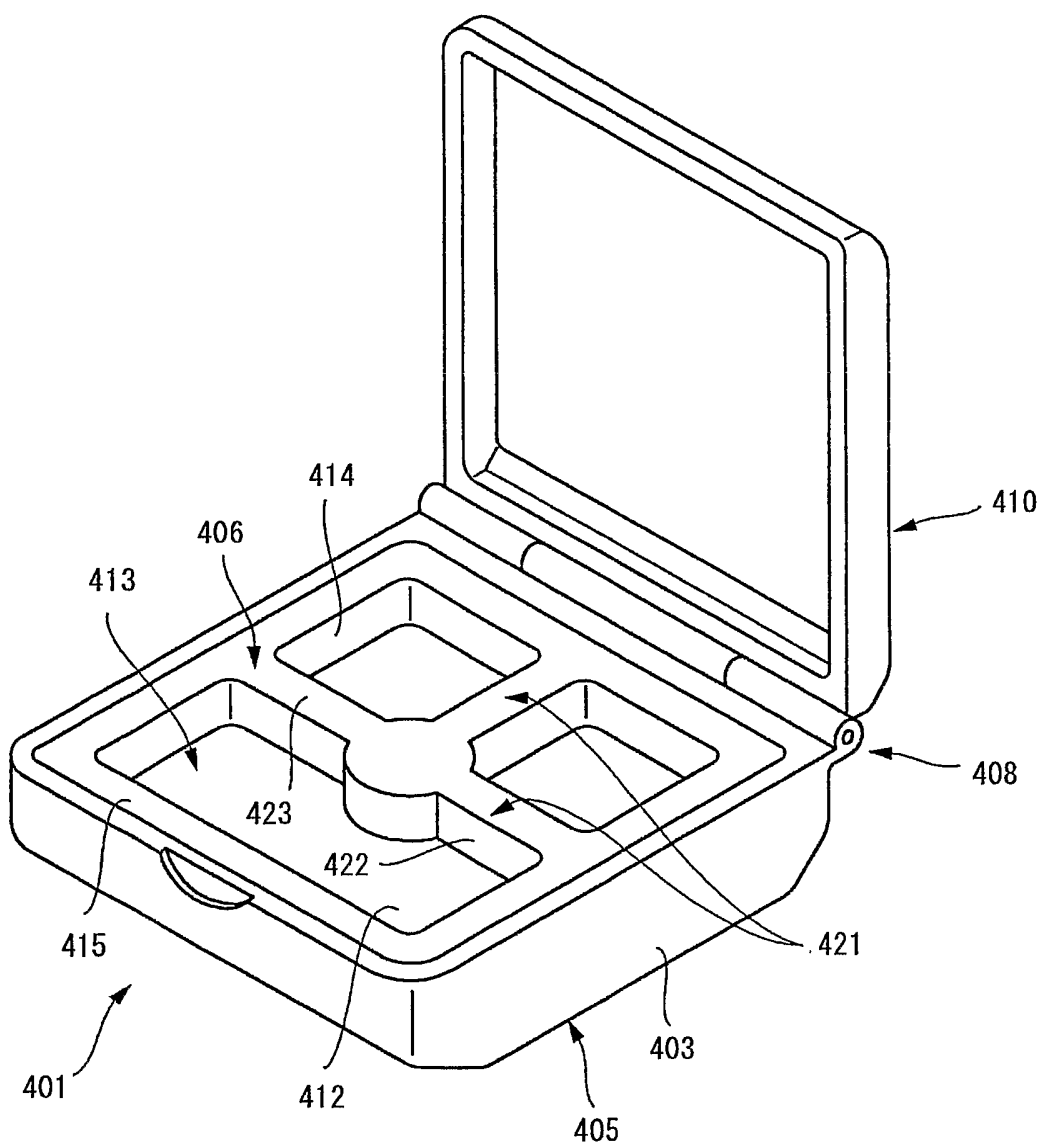
第 1 4 図



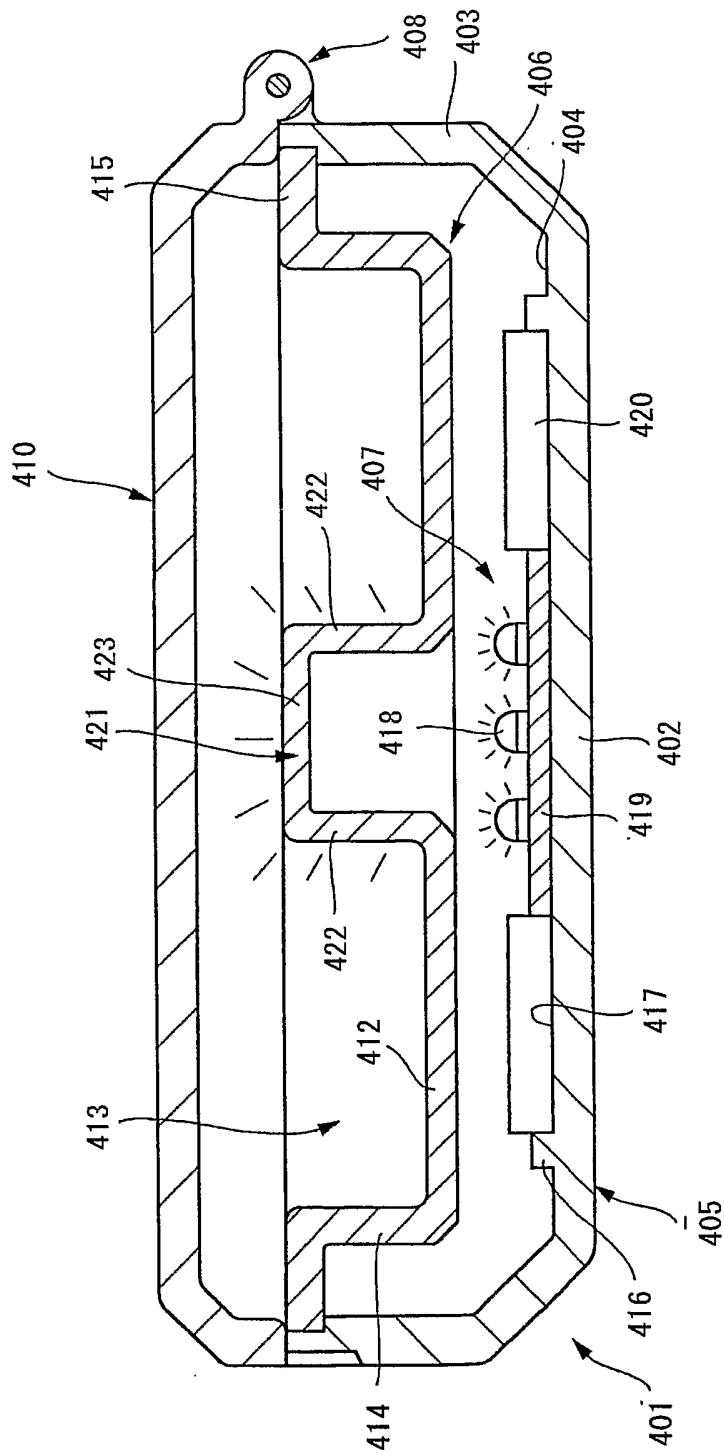


第 1 6 図

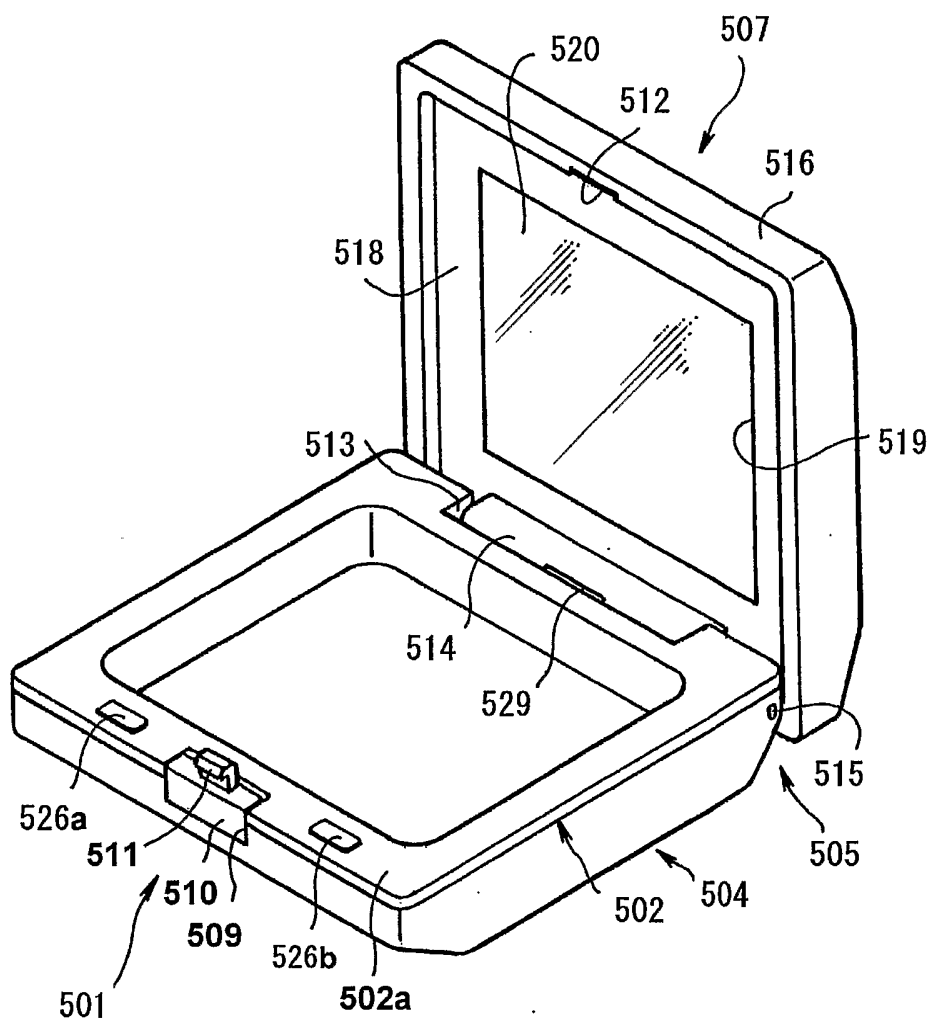




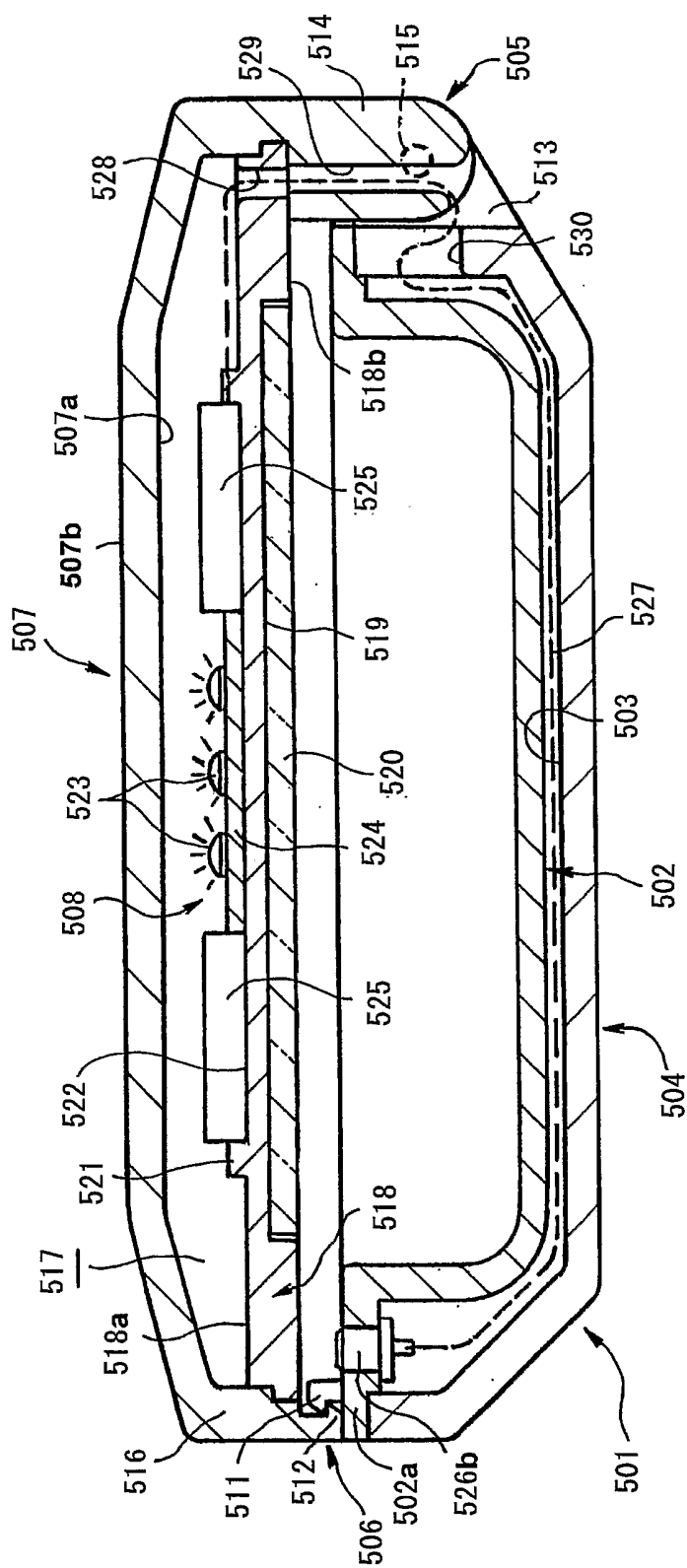
第 18 図



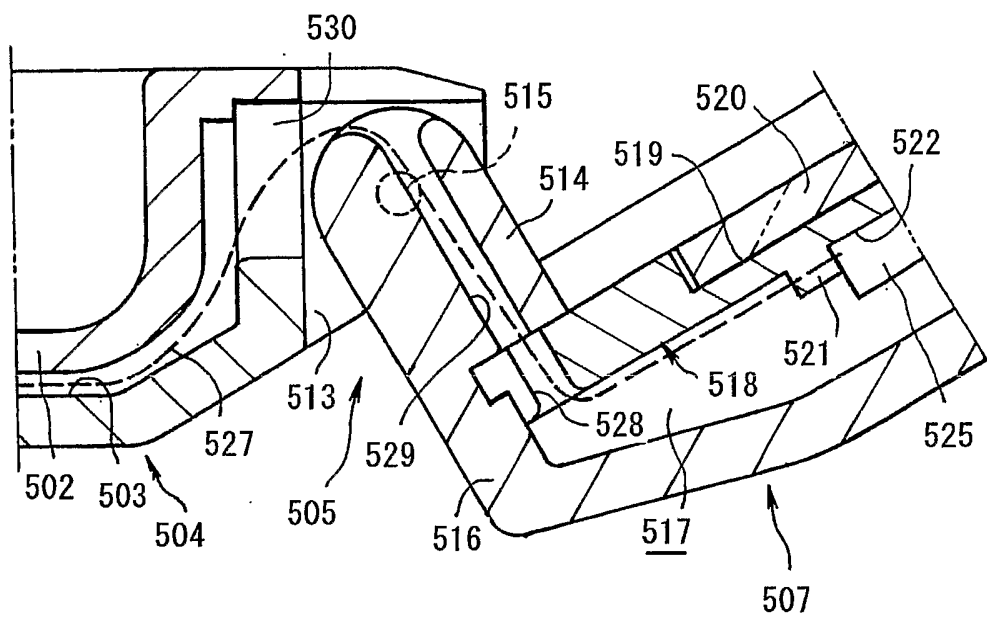
第 1 9 図

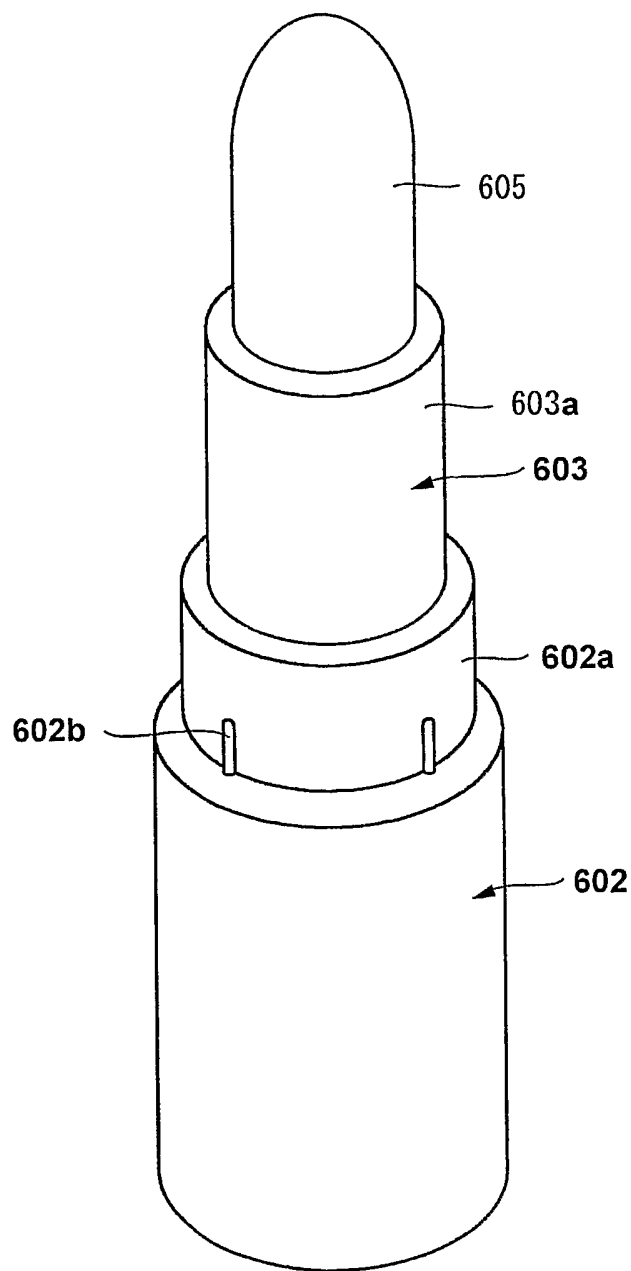


第 20 図

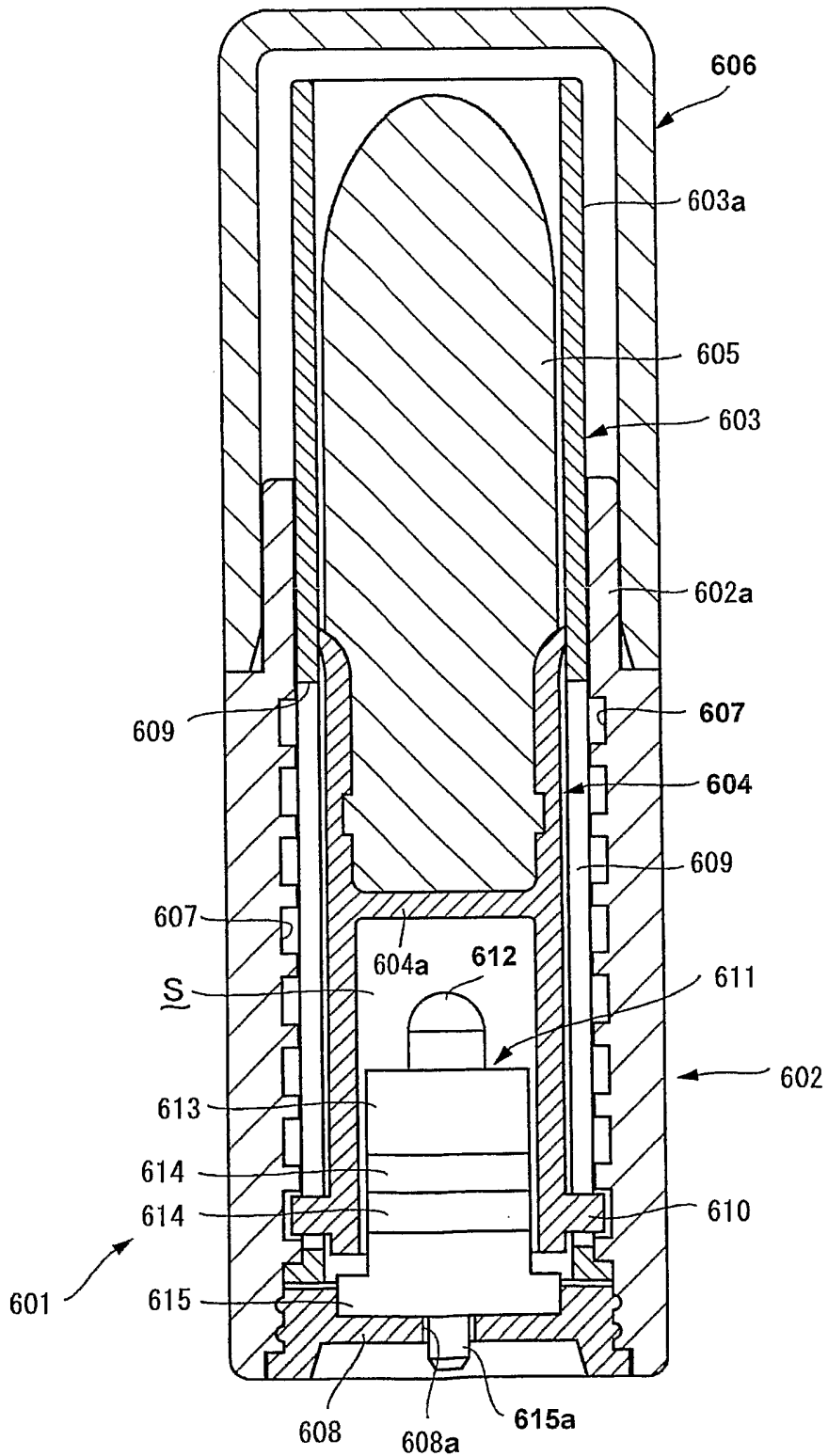


第 2 1 図

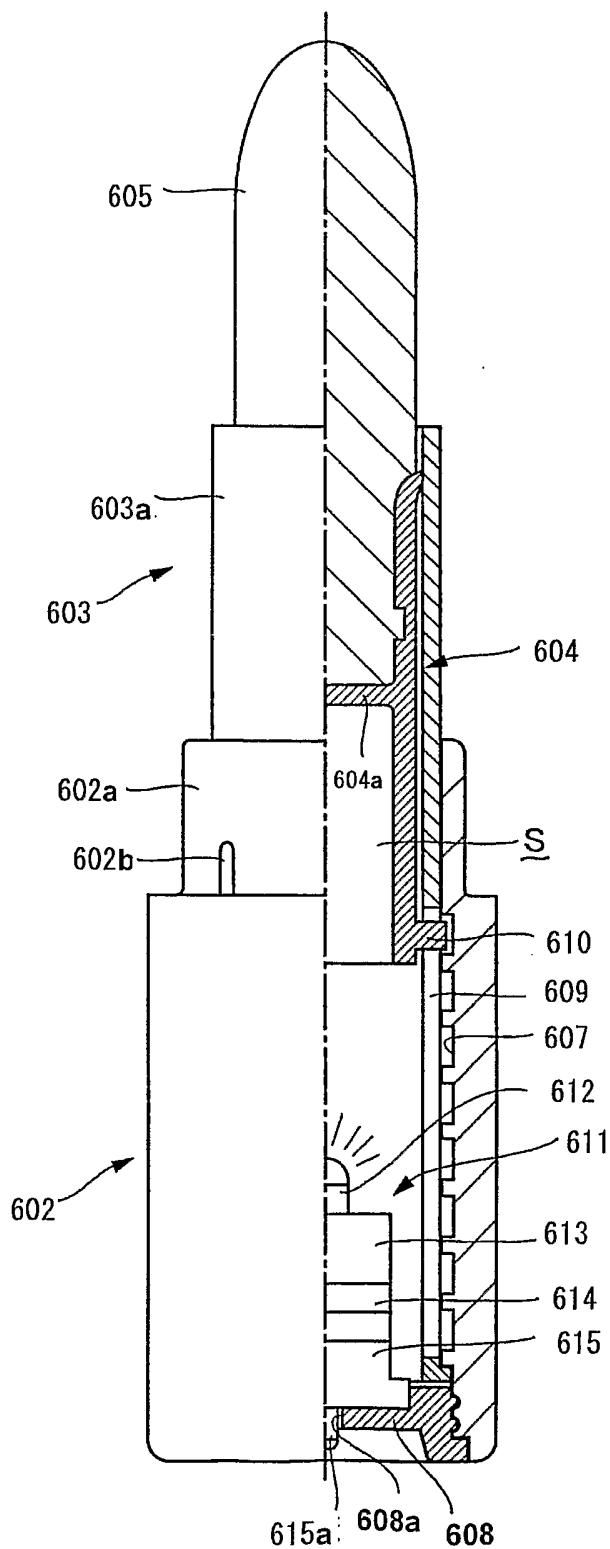




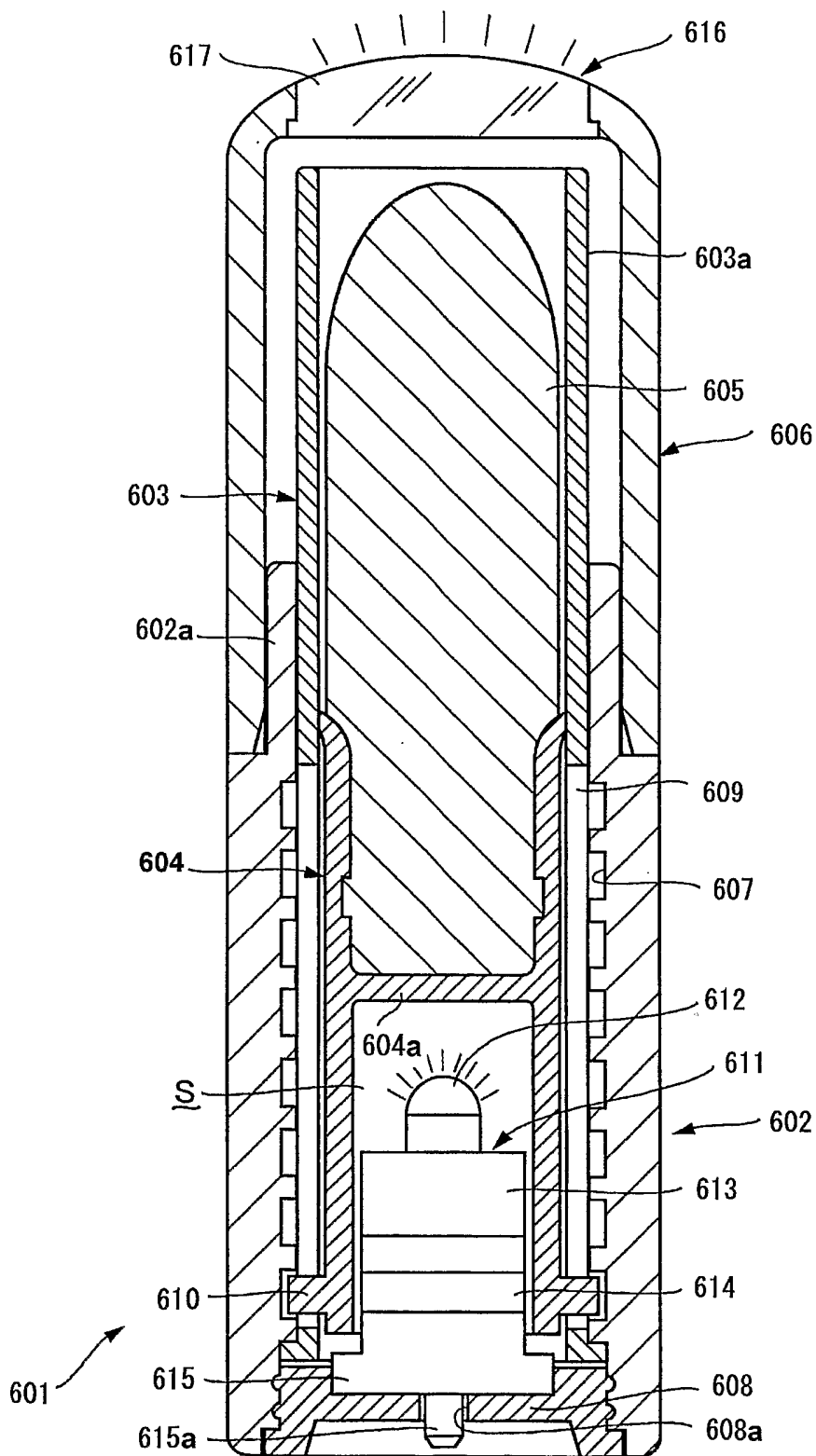
第 2 3 図



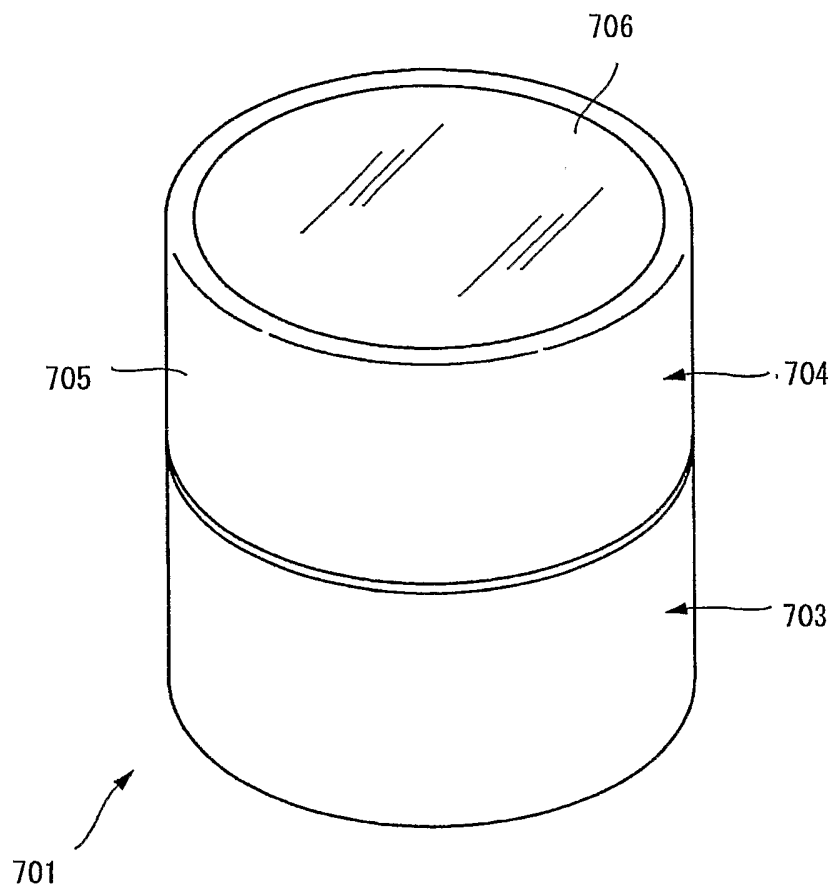
第 2 4 図



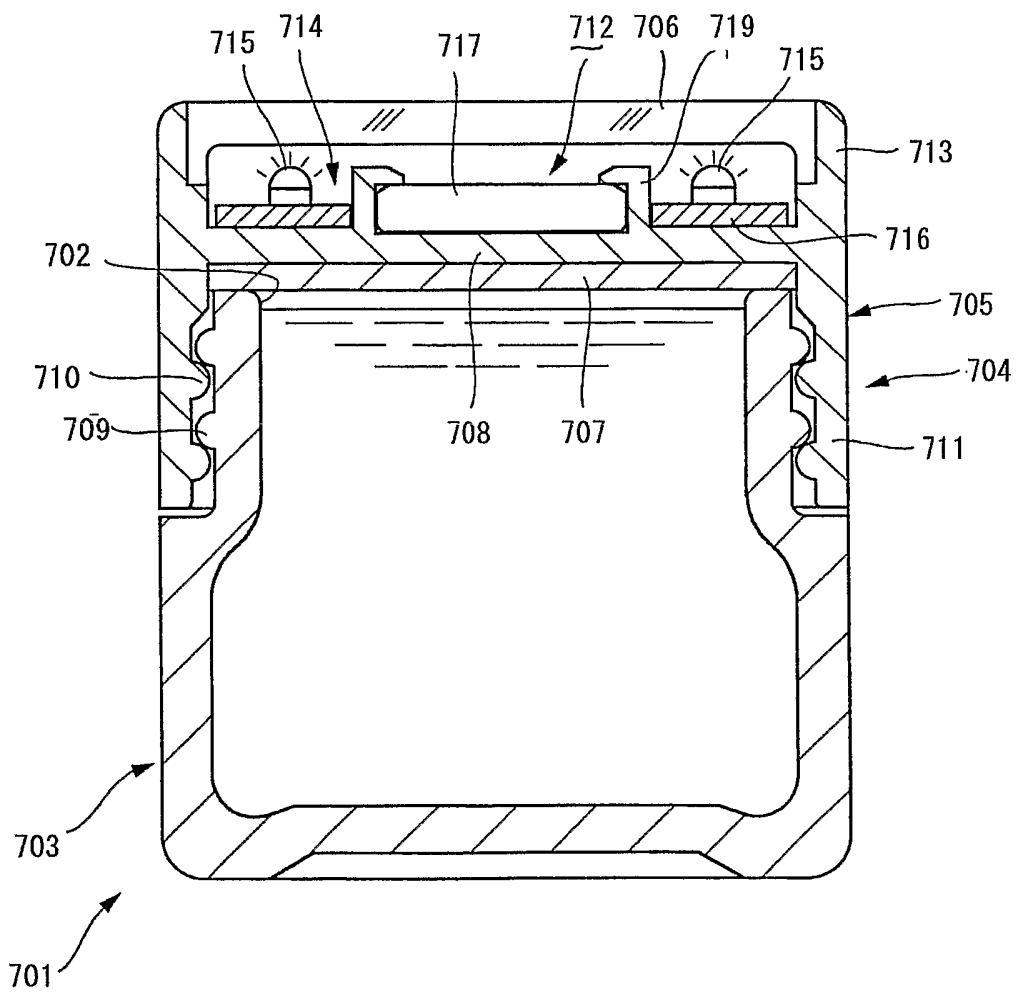
第 2 5 图



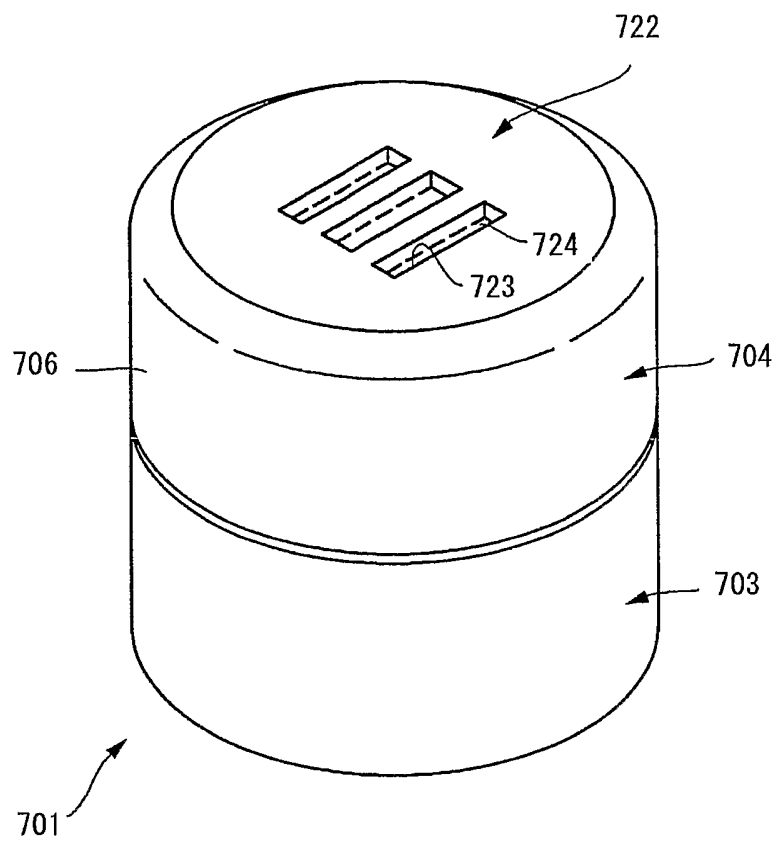
第 26 図



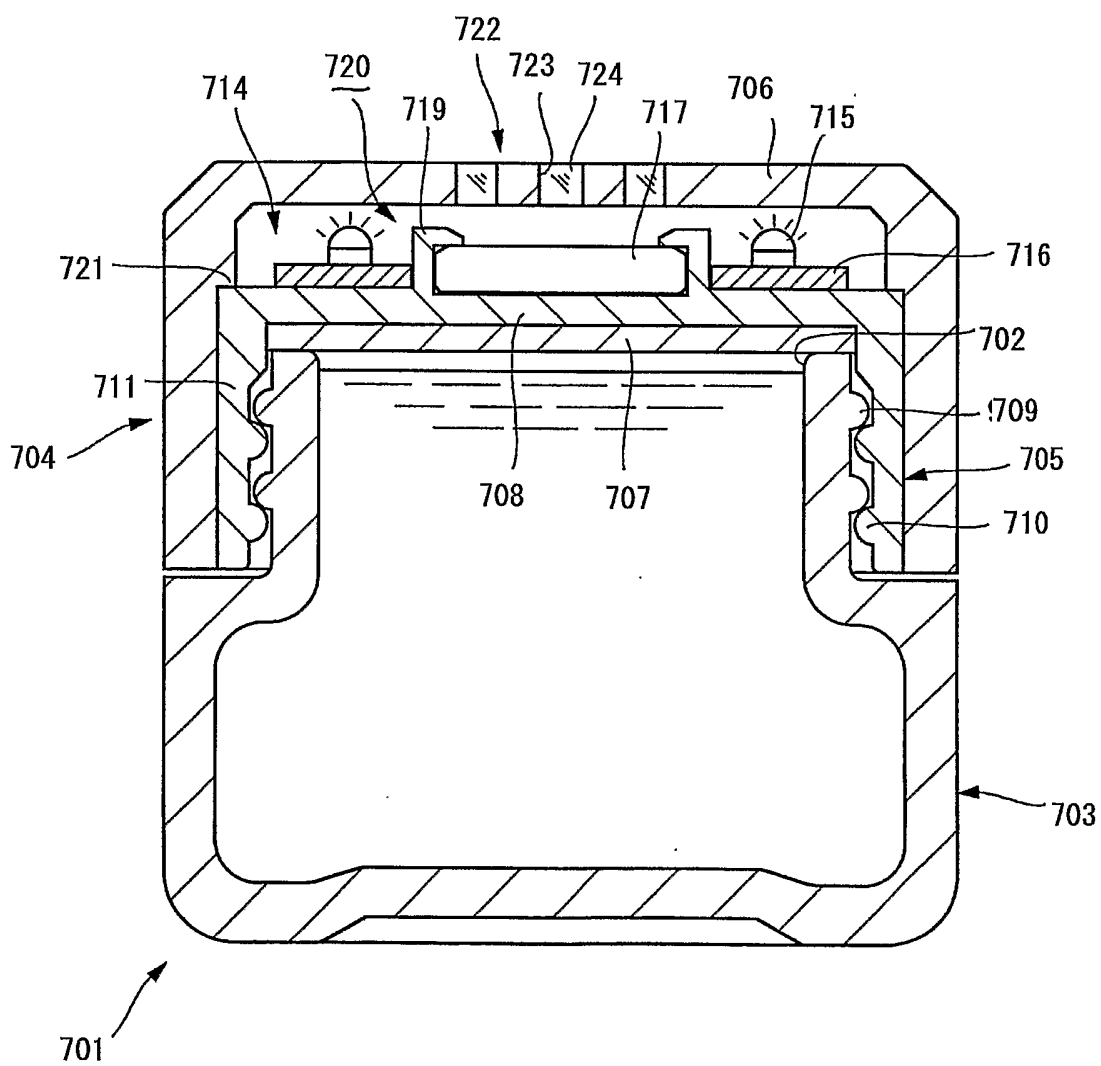
第 27 图



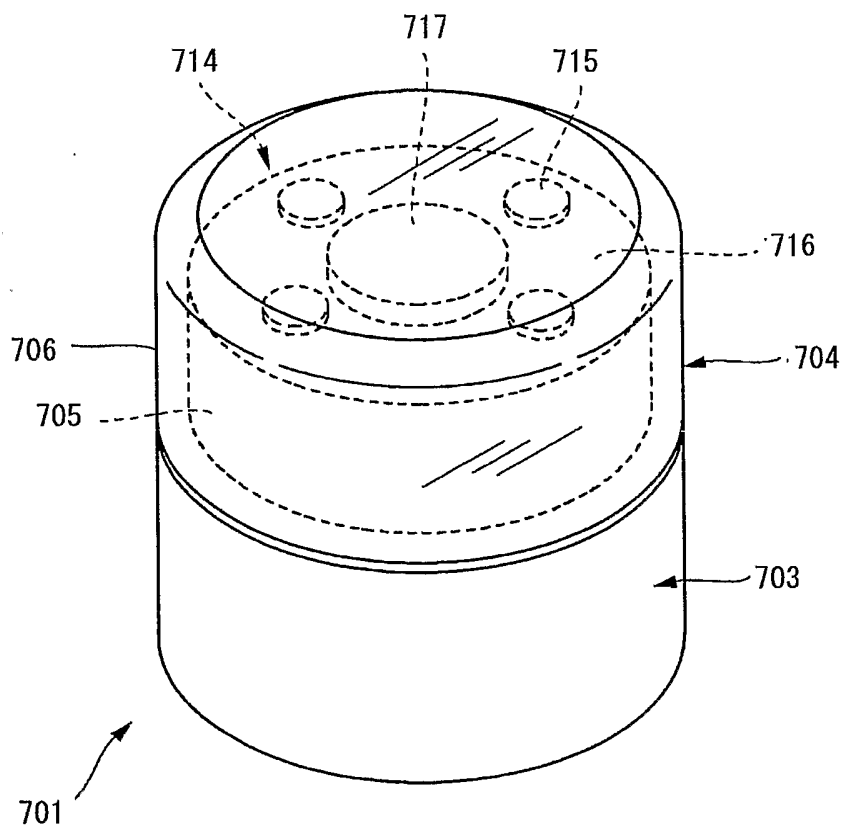
第 28 図



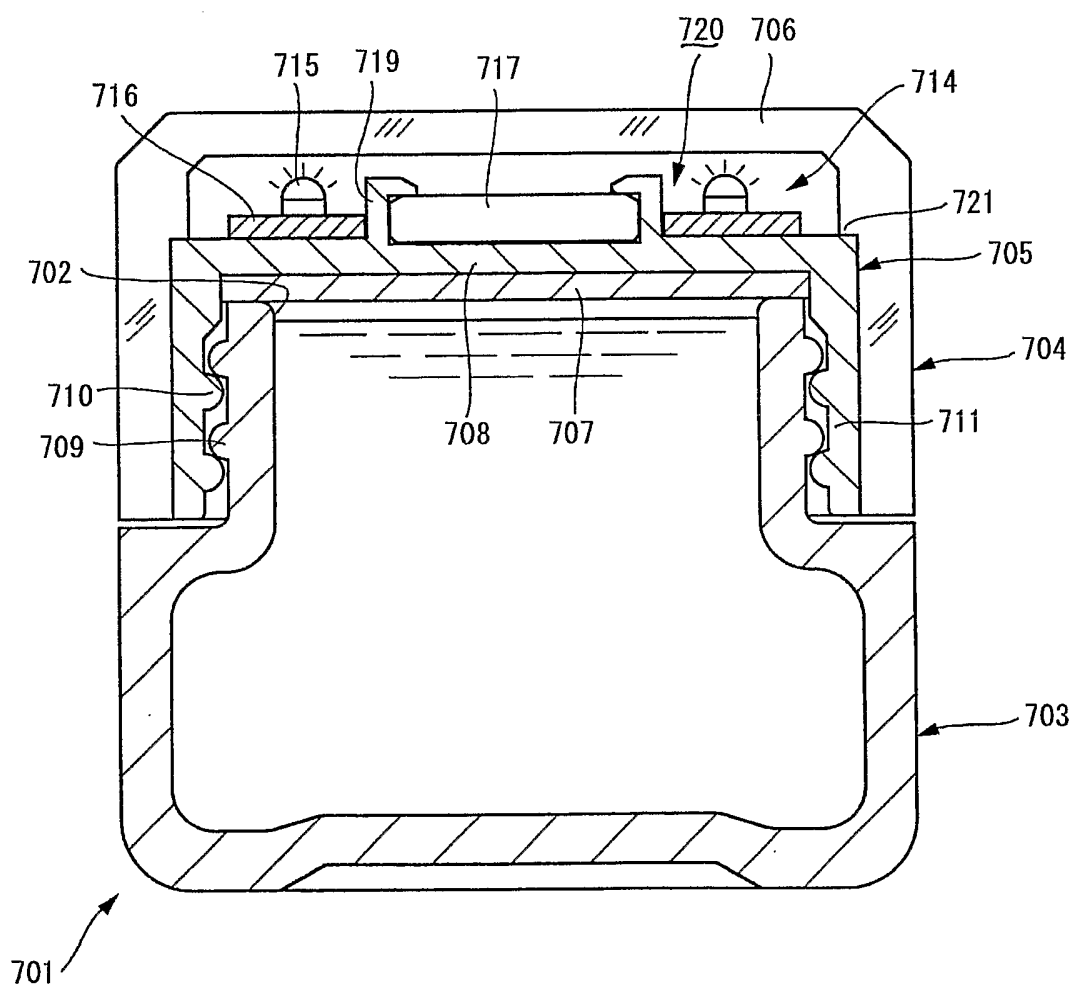
第 2 9 図

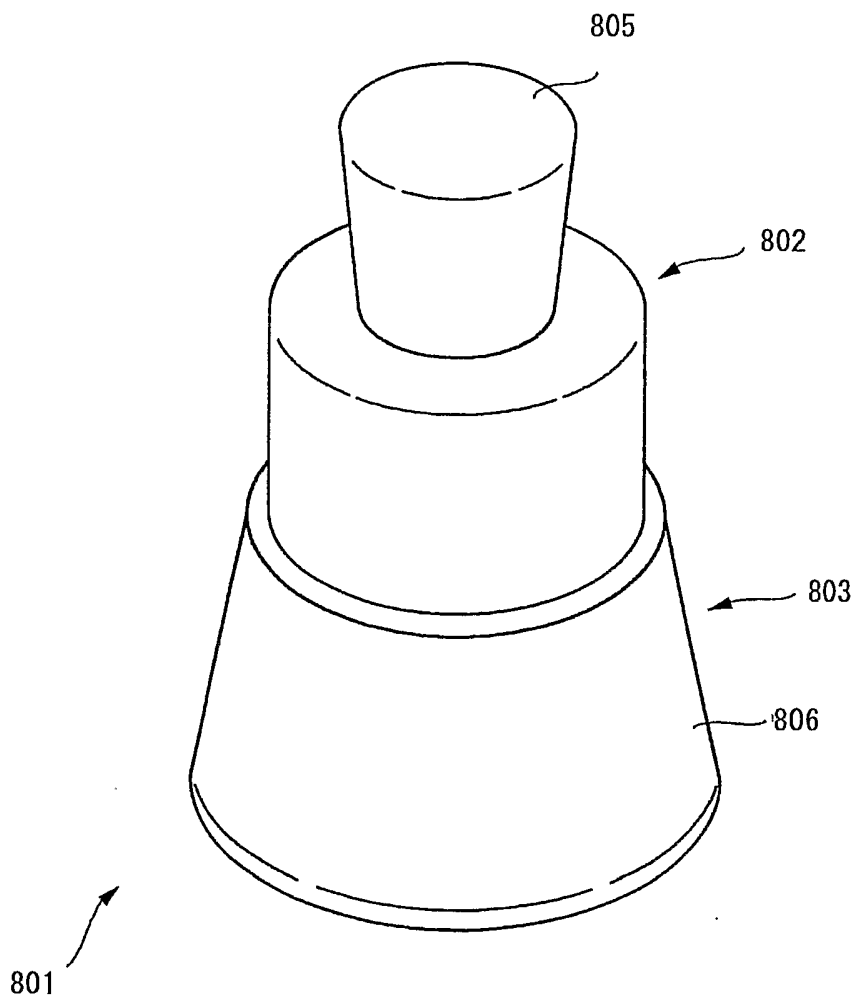


第30図

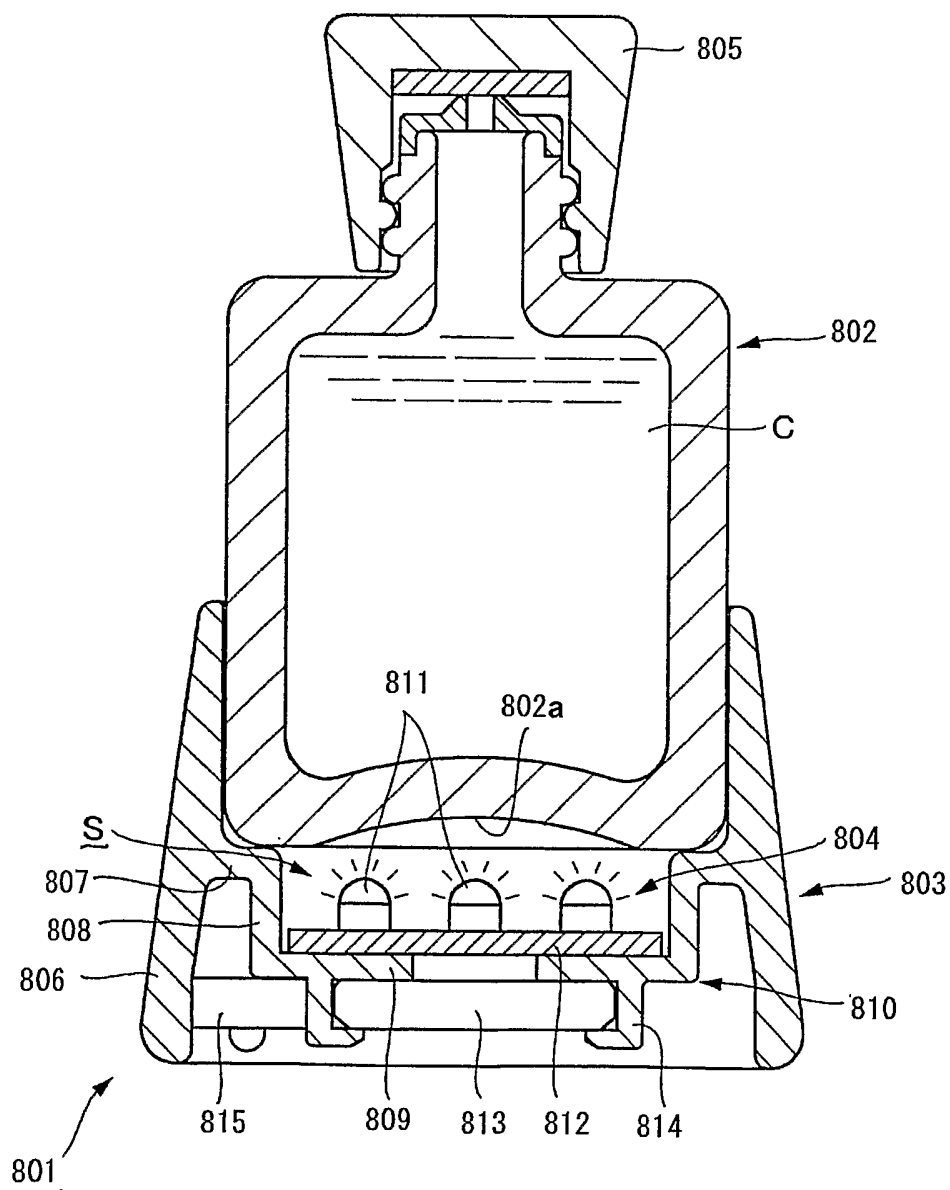


第 3 1 図

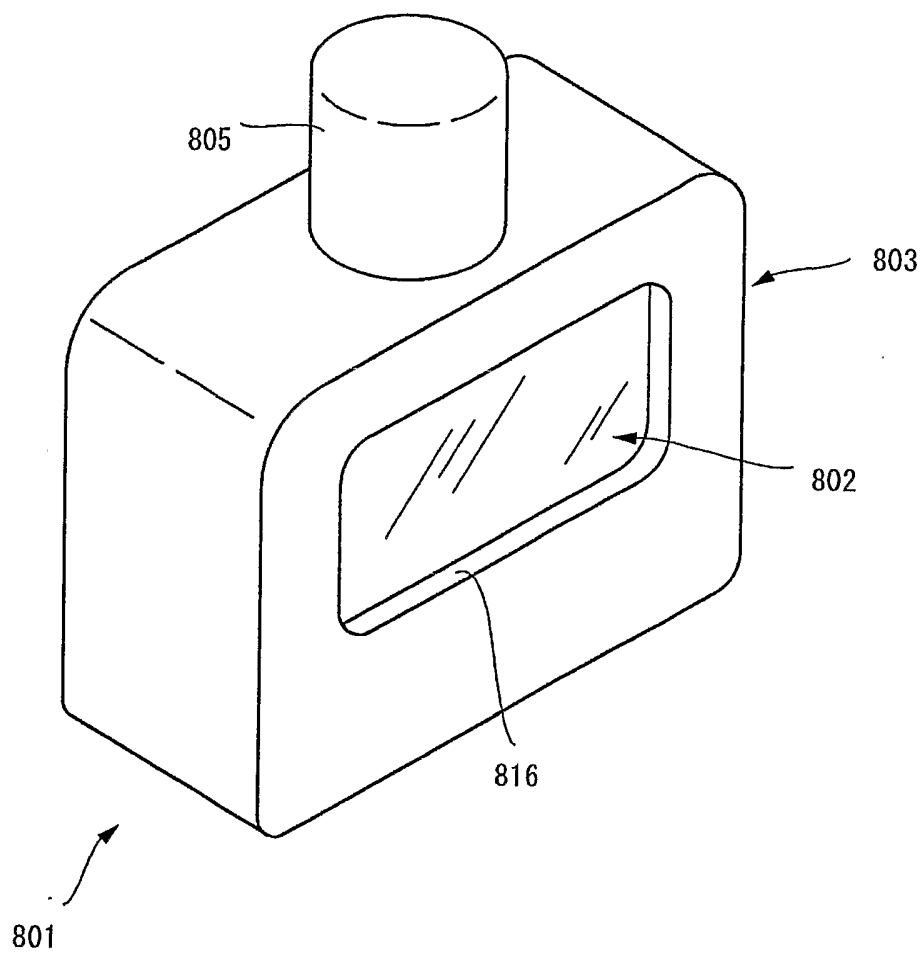




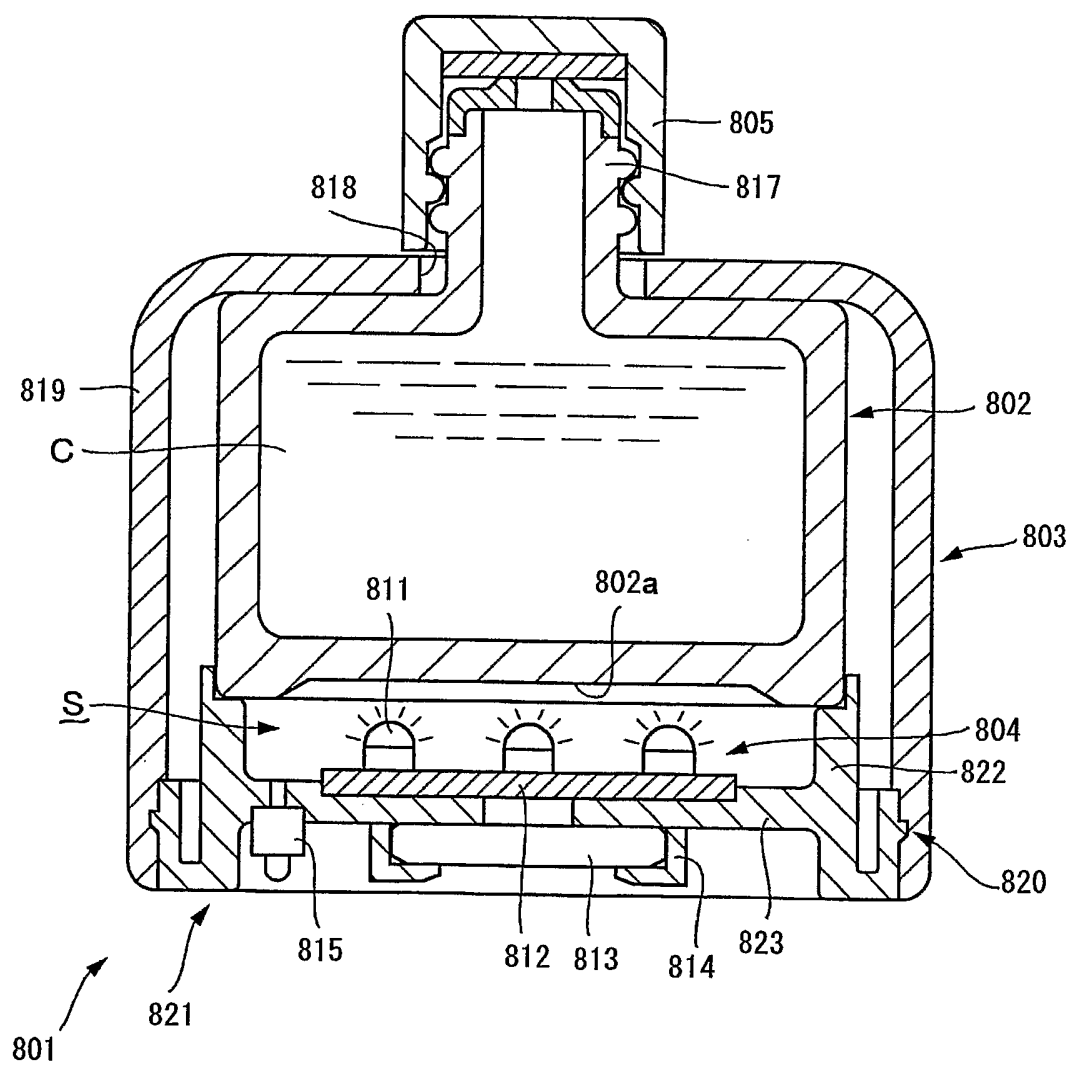
第 3 3 図



第 3 4 図



第 3 5 図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/09680

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ A45D33/32

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ A45D33/32, A45D34/00, A45D40/18

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2003
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2003	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2003

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	JP 45-15880 Y (Hirokichi MIYADAI et al.), 02 July, 1970 (02.07.70), Full text; Figs. 1 to 4 (Family: none)	1 2-32
A	JP 3068318 U (Shubi KA), 12 May, 2000 (12.05.00), (Family: none)	2-32
A	US 2001/0032655 A1 (GINDI), 25 October, 2001 (25.10.01), (Family: none)	2-32
A	JP 2000-164936 A (Nippon Denyo Kabushiki Kaisha), 16 June, 2000 (16.06.00), (Family: none)	5-10

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search
17 November, 2003 (17.11.03)

Date of mailing of the international search report
02 December, 2003 (02.12.03)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/09680

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 41-15386 Y (Kenzo KAWASAKI et al.), 19 July, 1966 (19.07.66), (Family: none)	15-18
A	US 2651709 A (R.S. ROSS ET AL.), 12 September, 1950 (12.09.50), (Family: none)	22-25

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
 Int.Cl.⁷ A45D33/32

B. 調査を行った分野
 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
 Int.Cl.⁷ A45D33/32
 A45D34/00
 A45D40/18

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの
 日本国実用新案公報 1922-1996
 日本国公開実用新案公報 1971-2003
 日本国登録実用新案公報 1994-2003
 日本国実用新案登録公報 1996-2003

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 45-15880 Y (宮台宏吉ほか)	1
A	1970.07.02、全文、第1-4図 (ファミリーなし)	2-32
A	JP 3068318 U (何秀美) 2000.05.12 (ファミリーなし)	2-32
A	US 2001/0032655 A1 (GINDI) 2001.10.25 (ファミリーなし)	2-32

C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー
 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献
 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
 17.11.03

国際調査報告の発送日
 02.12.03

国際調査機関の名称及びあて先
 日本国特許庁 (ISA/JP)
 郵便番号100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
 鈴木 誠
 3R 2330
 電話番号 03-3581-1101 内線 3386



C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 2000-164936 A (日本デンヨー株式会社) 2000.06.16 (ファミリーなし)	5-10
A	JP 41-15386 Y (川崎謙蔵ほか) 1966.07.19 (ファミリーなし)	15-18
A	US 2651709 A (R. S. ROSS ET AL) 1950.09.12 (ファミリーなし)	22-25